

第2章

唐津市のこども・若者を取り巻く状況

第2章では、本市のこども・若者を取り巻く状況について、統計データや調査結果などにより確認します。

人口・世帯、婚姻、出生等やこども・若者の様々な状況、計画策定にあたり実施したこども・若者アンケートや、こども・若者ヒアリング～からっこ VOICE～2025の結果をまとめます。

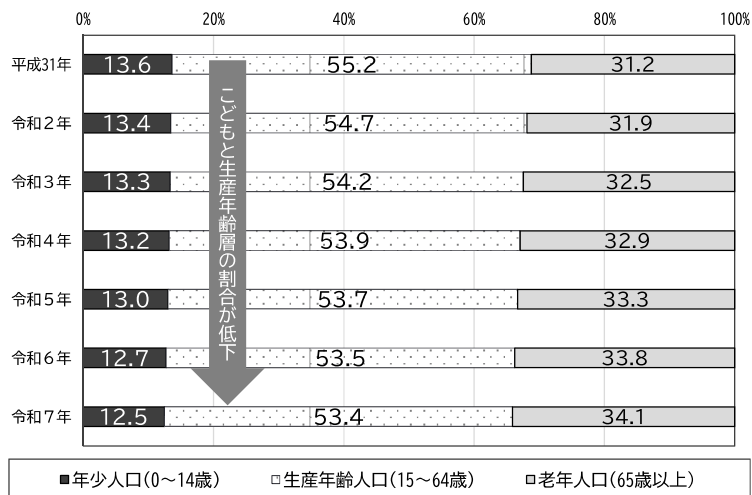
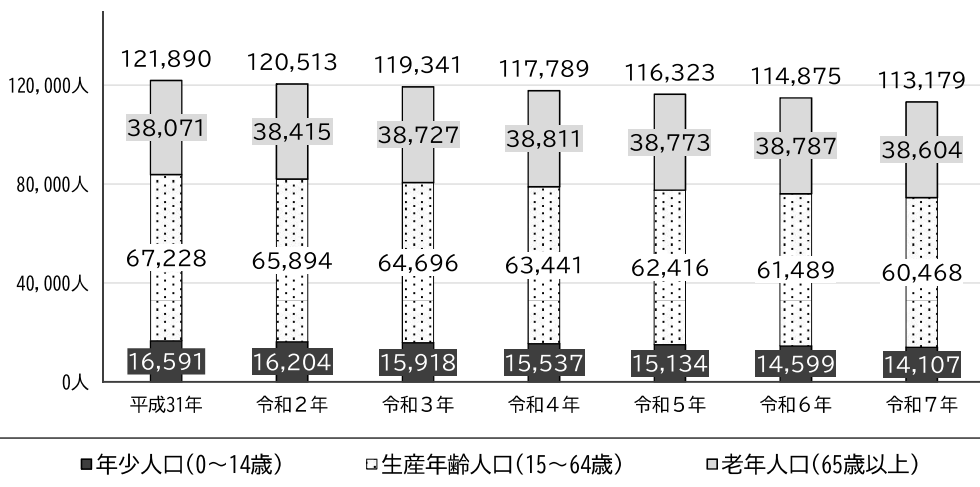
- 1 唐津市の現状
- 2 唐津市こども・若者アンケート結果の概要
- 3 唐津市こども・若者ヒアリング ～からっこ VOICE～2025



1 唐津市の現状

(1) 総人口・年齢区分別人口(推移)

総人口は平成31年～令和7年まで継続的に減少し、平成31年を100とした場合の令和7年の割合は92.8(8,711人の減少)となっています。同じように、平成31年と令和7年の割合を年齢区分別にみると、年少人口(0～14歳)は85.0(2,484人の減少)、生産年齢人口(15～64歳)は89.9(6,760人の減少)、老年人口(65歳以上)は101.4(533人の増加)となっており、年少人口の減少幅が大きくなっています。



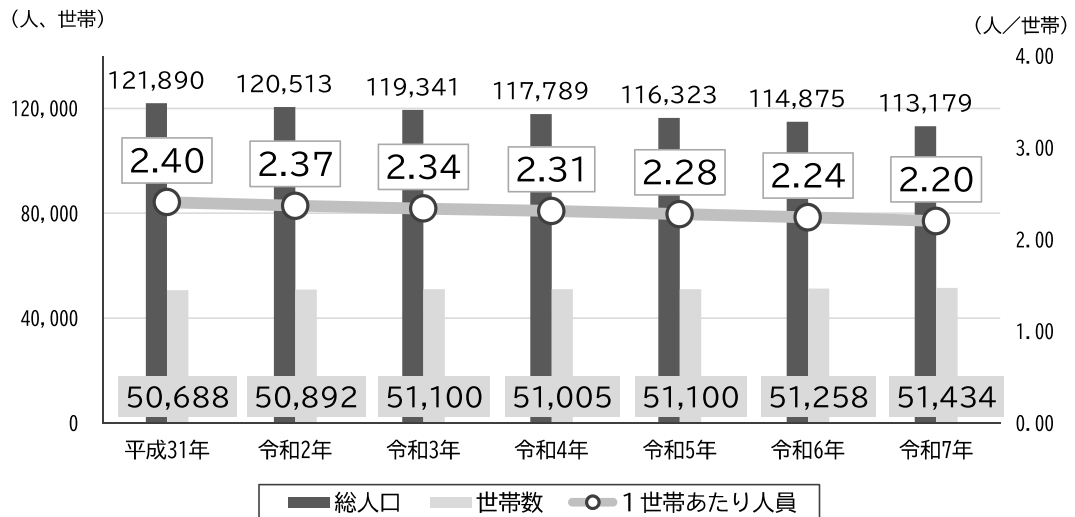
資料：住民基本台帳(各年3月末現在)



こどもの数が減り、少子化が進んでいる。

(2)世帯数と1世帯あたり人員

世帯数は平成31年から令和3年にかけて増加し、令和4年に一旦減少しましたが、その後は増加が続いています。それに対して総人口は減少が続いており、1世帯あたりの人員数も減少が続いています。



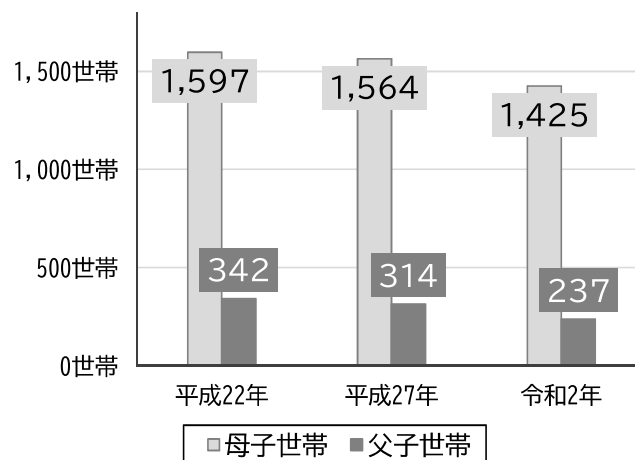
資料：市民課(各年3月末現在)



家族1人あたりの家事や介護の負担が大きくなるかもしれない。

(3)ひとり親世帯の推移

母子家庭、父子家庭ともに減少の傾向が続いています。



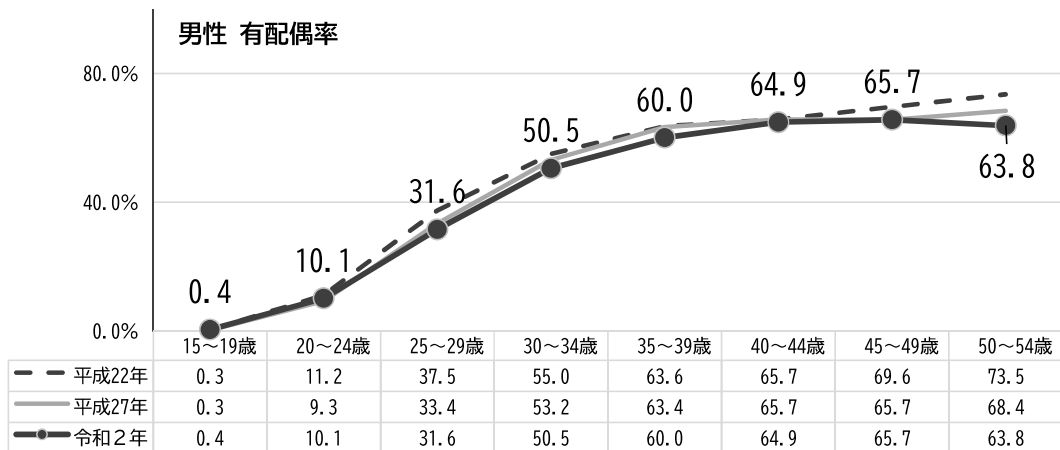
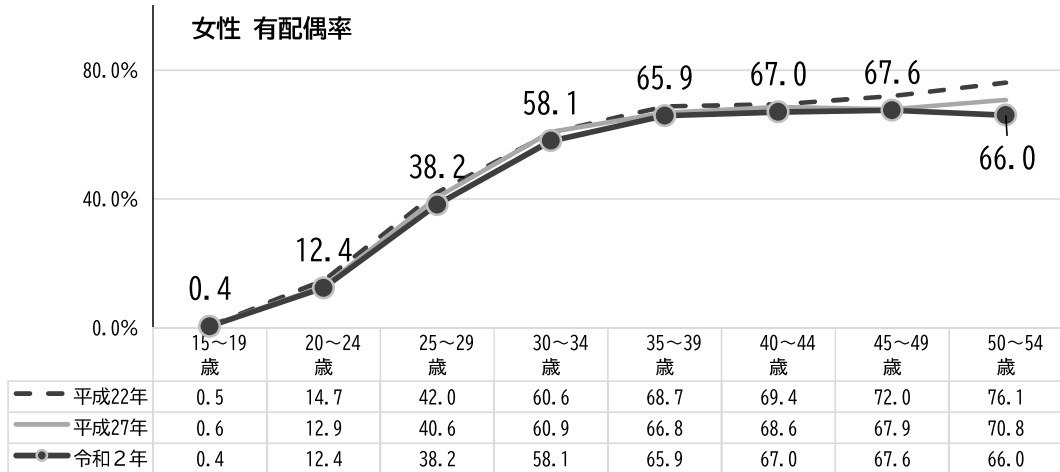
資料：国勢調査(各年)



ひとり親世帯は、父子家庭より母子家庭のほうが多い。

(4)年齢別の有配偶率

男性、女性ともに30歳以上の年代で有配偶率が50%以上となります。



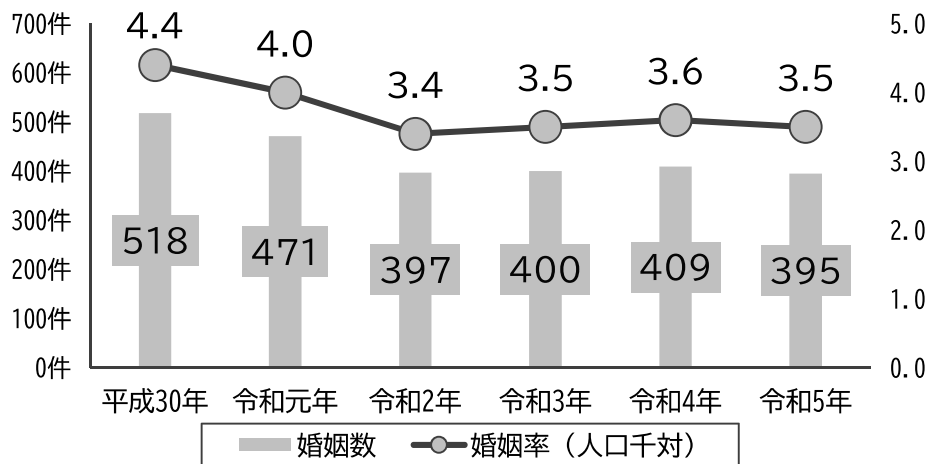
資料：国勢調査（各年）



配偶者のいる人の割合は、男性より女性のほうが高い。

(5) 婚姻数と婚姻率

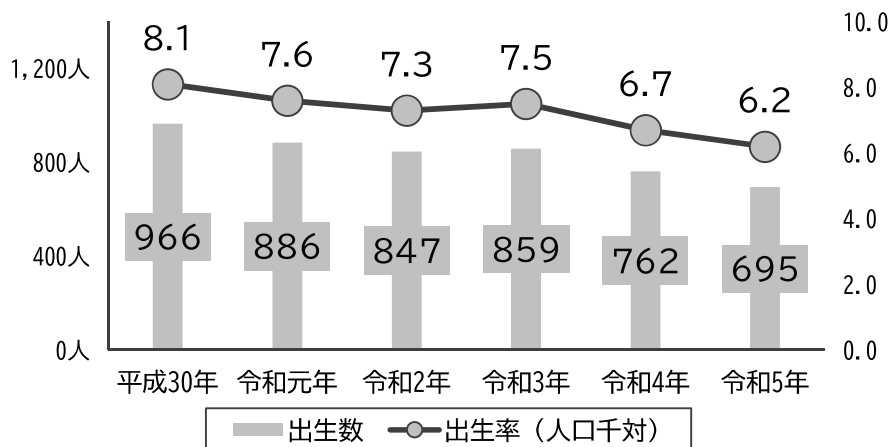
婚姻率は令和2年まで下降し、その後上昇しましたが、令和5年には再び下降し、同年の婚姻数は平成30年以降で最も少なくなっています。



人口動態統計（さが統計情報館）

(6) 出生数と出生率

平成30年から令和2年まで下降した出生率は、令和3年に一旦上昇したものの、その後令和5年まで下降を続けており、同年の出生数は平成30年以降で最も少なくなっています。



人口動態統計（さが統計情報館）

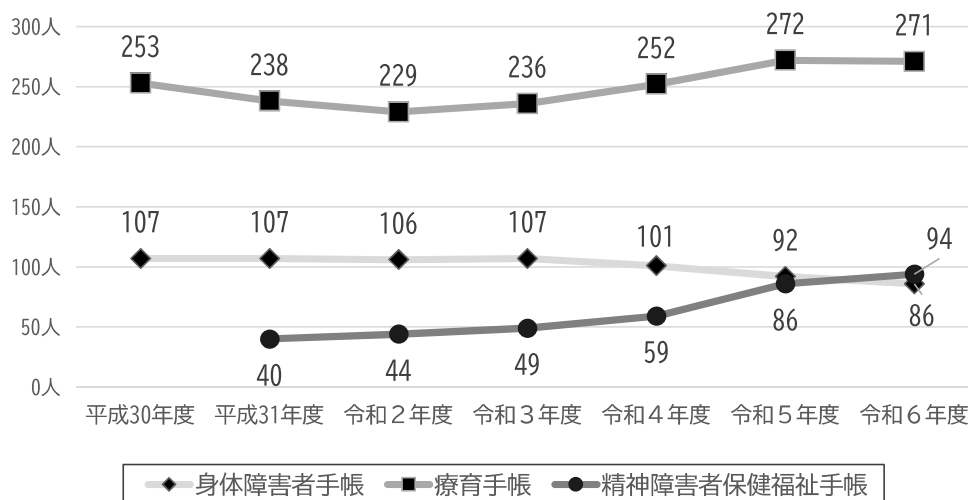


結婚する数も、こどもが生まれる数も、減ってきている。

(7)18歳未満の障害者手帳所持者

18歳未満の障害者手帳の所持者数の推移をみると、精神障害者保健福祉手帳は継続的な増加傾向、身体障害者手帳は令和3年度までほぼ横ばい、令和4年度から減少傾向です。

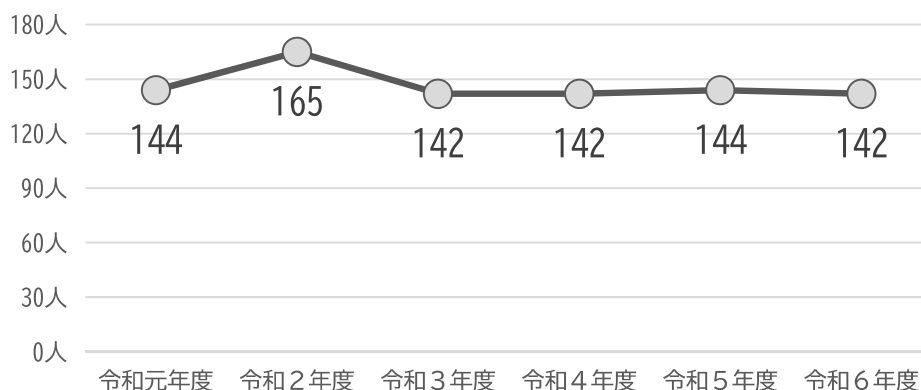
療育手帳は令和3年度から令和5年度まで増加の傾向がみられました。



資料：障がい者支援課（各年度3月末現在）
※精神障害者保健福祉手帳は平成30年度データなし

(8)医療的ケア児の状況

佐賀県から提供されている、市内の小児慢性特定疾病児童数です。大きな増減はみられず、直近4年間はほぼ横ばいの状況です。



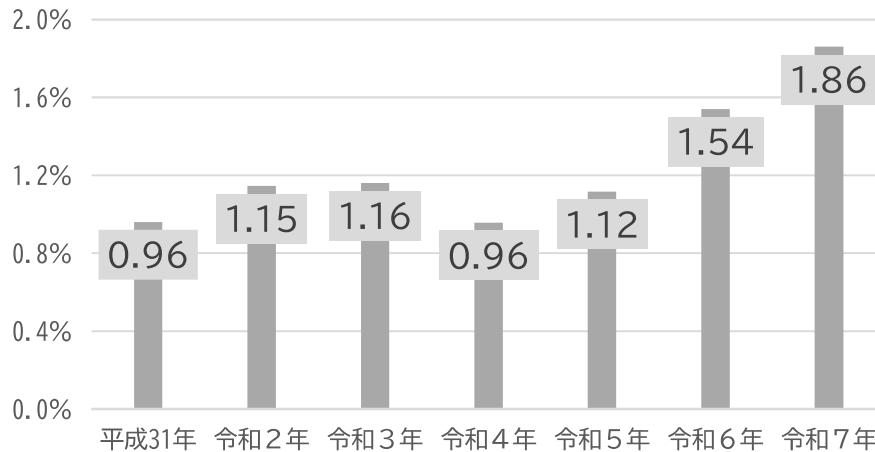
資料：佐賀県提供



障がいや病気のある人のことを、いつも考えていくことが大切。

(9)外国につながる世帯の割合

総世帯数に占める外国人世帯数の割合は、年により増減がみられるものの、総じて上昇傾向で、平成31年の0.96%が令和7年には1.86%となっています。



(人、世帯数は世帯)

年	人 口				外国人				B/A
	総数	男	女	世帯数 (A)	総数	男	女	世帯数 (B)	
平成31年	121,890	57,369	64,521	50,688	676	143	533	487	0.96%
令和2年	120,513	56,737	63,776	50,892	778	179	599	583	1.15%
令和3年	119,341	56,259	63,082	51,100	783	194	589	593	1.16%
令和4年	117,789	55,601	62,188	51,005	697	206	491	488	0.96%
令和5年	116,323	54,936	61,387	51,100	801	252	549	570	1.12%
令和6年	114,875	54,174	60,701	51,258	1,032	327	705	790	1.54%
令和7年	113,179	53,389	59,790	51,434	1,189	373	816	956	1.86%

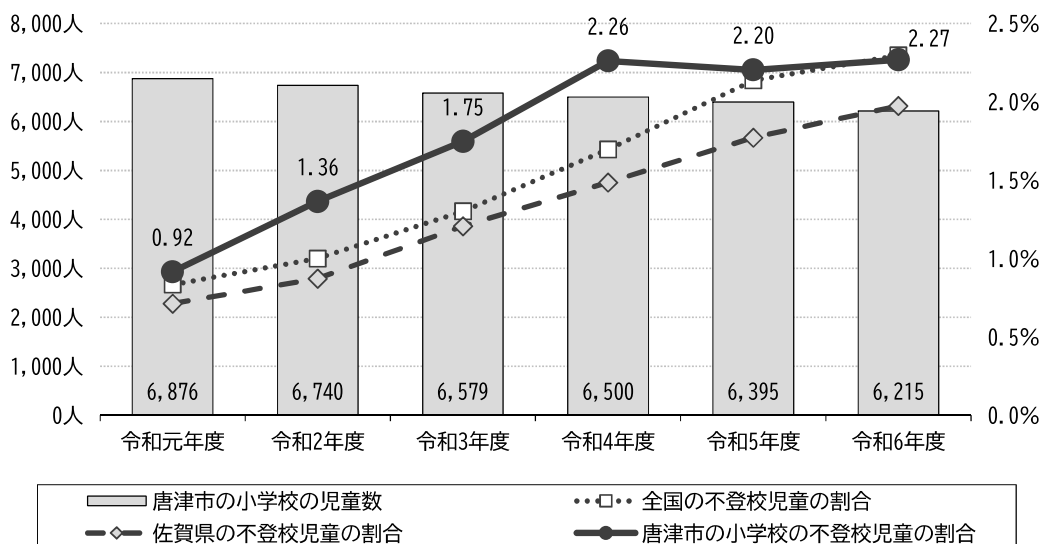
資料：市民課（各年3月末現在）



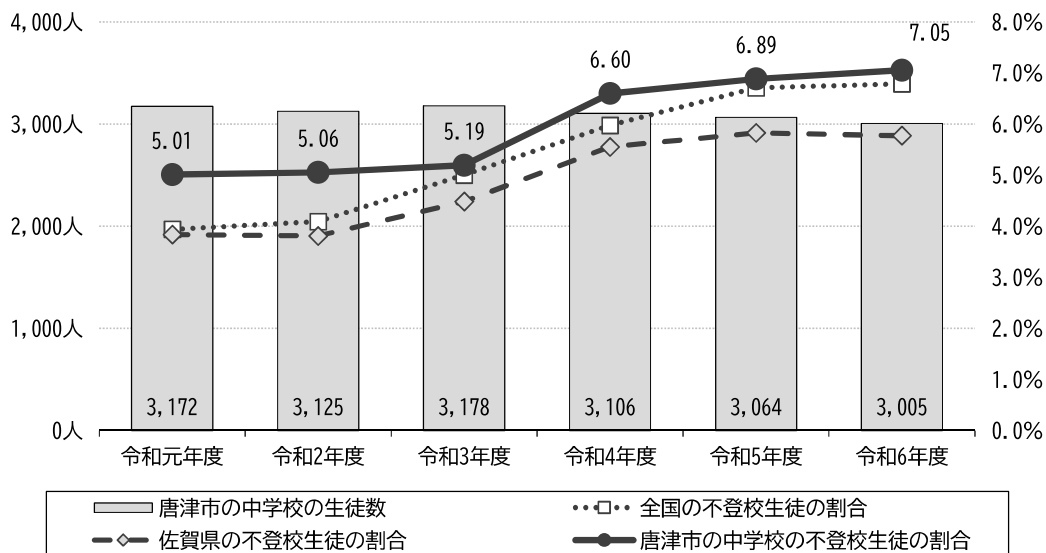
多様な言語や文化の中で育ったこどもが、これから増えるかもしれない。

(10)不登校児童・生徒の状況

小学校の不登校児童の割合は令和4年度から5年度にかけて下降しましたが、令和6年度には上昇しました。



中学校の不登校生徒の割合は継続的に上昇の傾向です。



資料：学校教育課（県・全国は児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査）



全国的に増加する不登校。地域における切れ目のない支援が大事。

2 唐津市子ども・若者アンケート結果の概要

思春期から青年期にあたる子ども・若者の、日ごろの生活や意識等について現状を把握し、本計画における取り組み検討の資料とするために行ったものです。

●調査対象

唐津市内在住の16歳から39歳までの人（3,000人を無作為抽出）

●調査時期

令和7年8月25日～9月8日

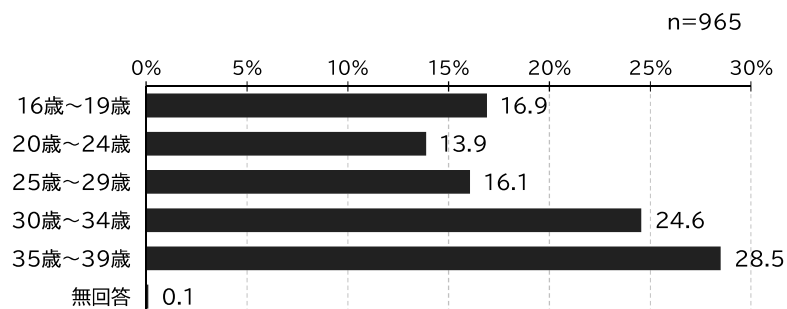
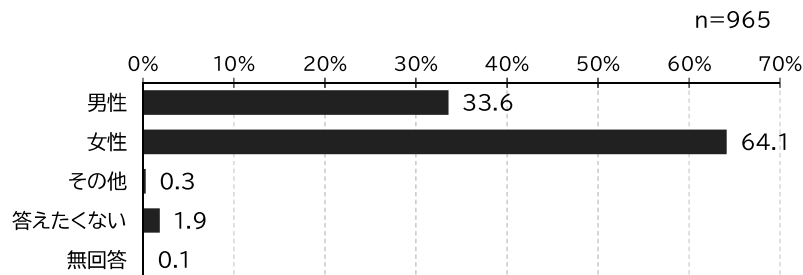
●調査方法

郵送にて依頼状を配付・WEBで回答

●配付・回答状況

配付数	回収数	回収率
3,000票	965票	32.2%

●回答者の属性

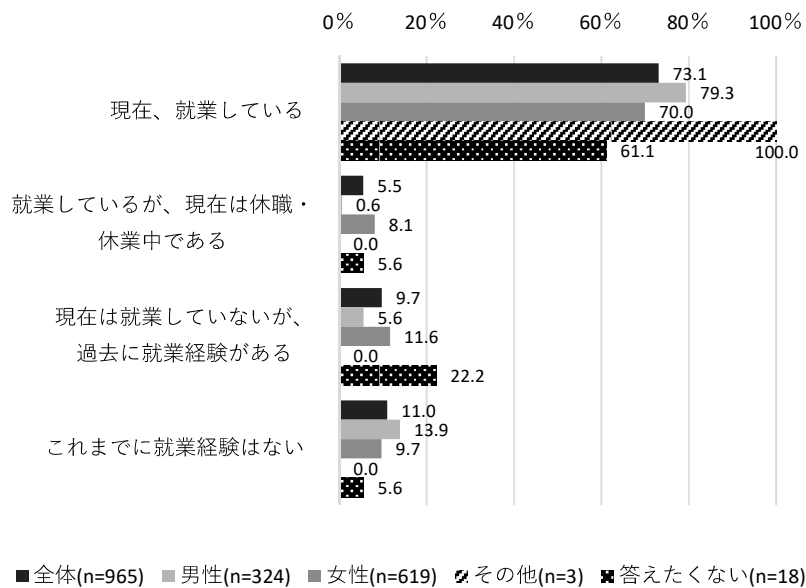


(1)職業経験

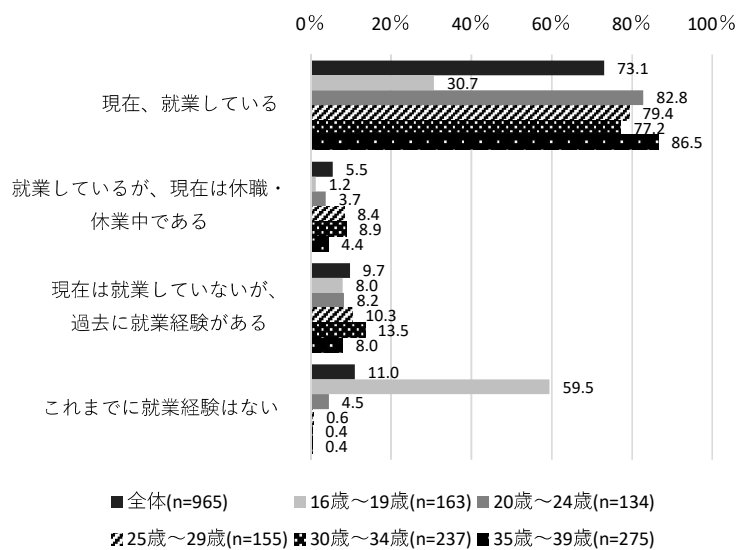
問 就業経験についてお答えください

「現在、就業している」が73.1%と最も多く、「これまでに就業経験はない」が11.0%、「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」が9.7%、「就業しているが、現在は休職・休業中である」が5.5%となっています。年齢別にみると、16歳～19歳では「これまでに就業経験はない」が過半数となっています。

性別



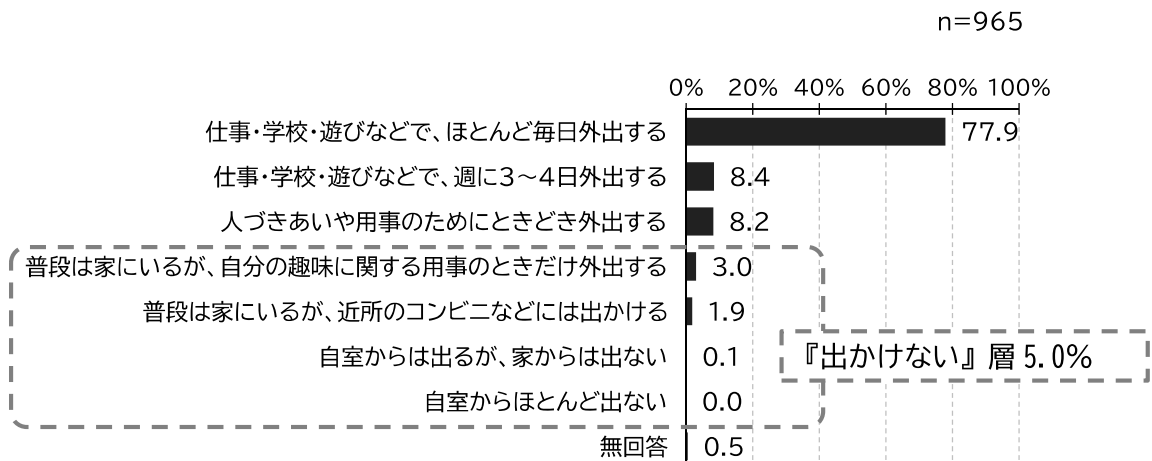
年齢別



(2)外出の状況

問 普段どのくらい外出しますか

「仕事・学校・遊びなどで、ほとんど毎日外出する」が77.9%と最も多く、「仕事・学校・遊びなどで、週に3～4日外出する」が8.4%、「人づきあいや用事のためにときどき外出する」が8.2%、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が3.0%、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が1.9%となっています。



性別・年齢別

	合計 (人)	仕事・学校・遊びなどで、ほとんど毎日外出する (%)	仕事・学校・遊びなどで、週に3～4日外出する (%)	人づきあいや用事のためにときどき外出する (%)	普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する (%)	普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける (%)	自室からは出るが、家からは出ない (%)	自室からほとんど出ない (%)	
全体	965	77.9	8.4	8.2	3.0	1.9	0.1	0.0	
性別	男性	324	84.3	5.6	7.1	1.5	1.2	0.0	0.0
	女性	619	75.4	9.7	8.4	3.7	2.3	0.2	0.0
	その他	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	答えたくない	18	50.0	16.7	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0
年齢別	16歳～19歳	163	76.1	14.1	6.1	2.5	0.6	0.6	0.0
	20歳～24歳	134	77.6	8.2	9.0	2.2	2.2	0.0	0.0
	25歳～29歳	155	75.5	10.3	6.5	3.9	2.6	0.0	0.0
	30歳～34歳	237	74.7	6.3	12.7	4.2	2.1	0.0	0.0
	35歳～39歳	275	83.6	5.8	6.2	2.2	1.8	0.0	0.0

※無回答を省略

「外出の状況」の分類

「普段どのくらい外出しますか」の回答で「仕事・学校・遊びなどで、ほとんど毎日外出する」「仕事・学校・遊びなどで、週に3～4日外出する」「人づきあいや用事のためにときどき外出する」と回答した人を『出かける』層、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」と回答した人を『出かけない』層に分類したところ、『出かけない』層は全体の5.0%となりました（無回答を除いて集計）。

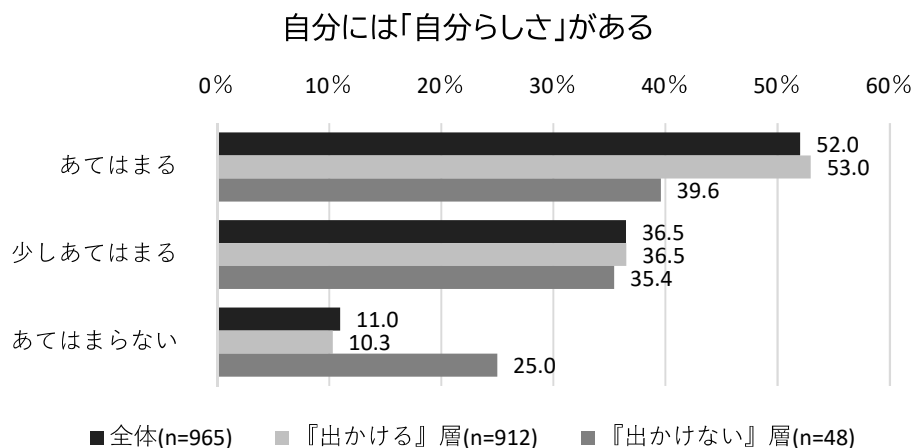
※『出かけない』層は、国の同様の調査で「ひきこもりの状態」とされるものにあたります。

(3)自己認識(外出の状況別)

問 「自分には『自分らしさ』があると思う」にあてはまると思えますか

「あてはまらない」をみると、全体の11.0%に対し、『出かける』層では25.0%と多くなっています。

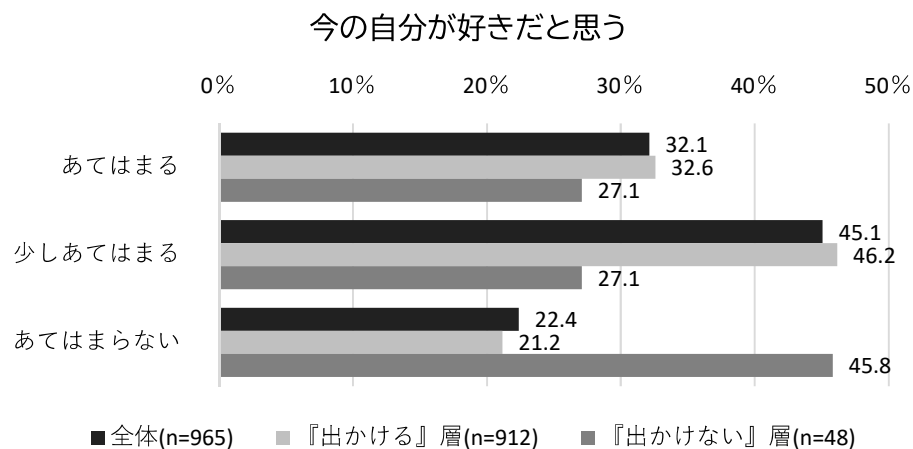
外出の状況別



問 「今の自分が好きだと思う」にあてはまると思えますか

「あてはまらない」をみると、全体の22.4%に対し、『出かける』層では45.8%と多くなっています。

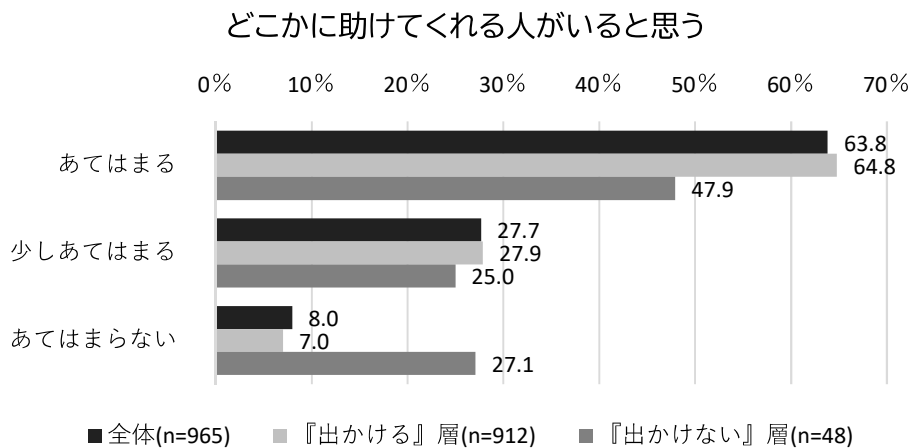
外出の状況別



問 「どこかに助けしてくれる人がいると思う」にあてはまると思えますか

「あてはまらない」をみると、全体の8.0%に対し、『出かける』層では27.1%と多くなっています。

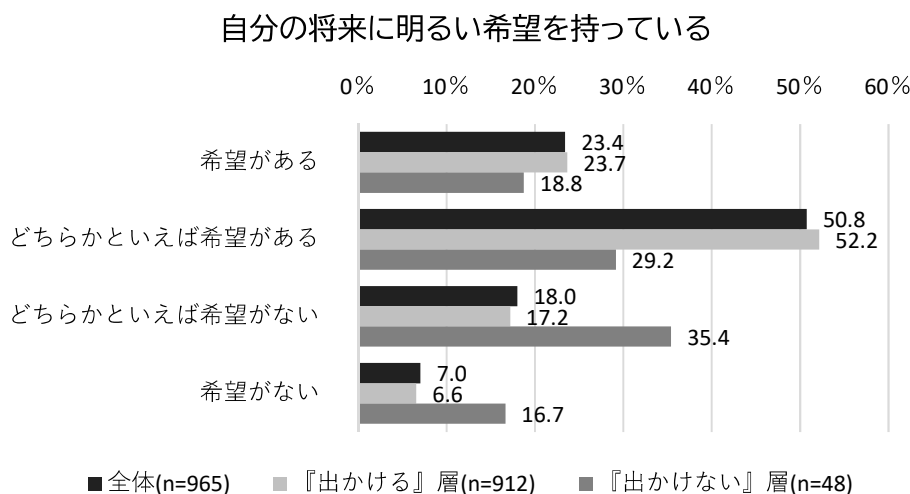
外出の状況別



問 自分の将来について明るい希望を持っていますか

「どちらかといえば希望がない」「希望がない」ともに、『出かける』層での割合が全体より高くなっています。

外出の状況別



『出かける』ことで、自分への気持ちが変わるかも。

(4)安心できる場所、居心地のよい場所(年齢別)

問 あなたにとって安心できる場所、居心地のよい場所などになっていますか

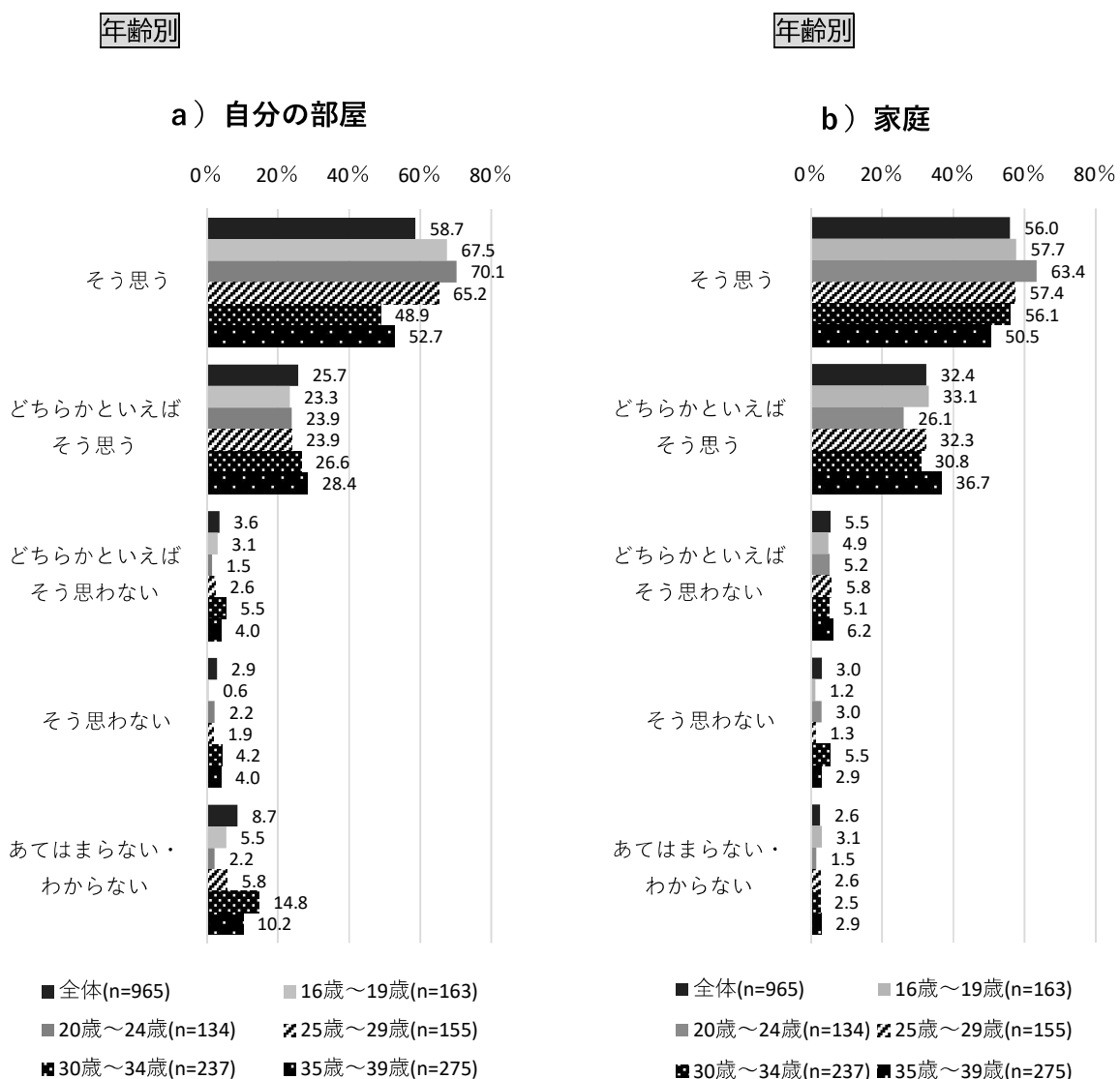
a)自分の部屋

「そう思う」が58.7%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」が25.7%、「あてはまらない・わからない」が8.7%、「どちらかといえばそう思わない」が3.6%、「そう思わない」が2.9%となっています。

年齢別にみると、30歳～34歳では「そう思う」の割合が他の年齢層と比べて低くなっています。

b)家庭(実家や親族の家を含む)

「そう思う」が56.0%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」が32.4%、「どちらかといえばそう思わない」が5.5%、「そう思わない」が3.0%、「あてはまらない・わからない」が2.6%となっています。



c)学校(卒業した学校を含む)

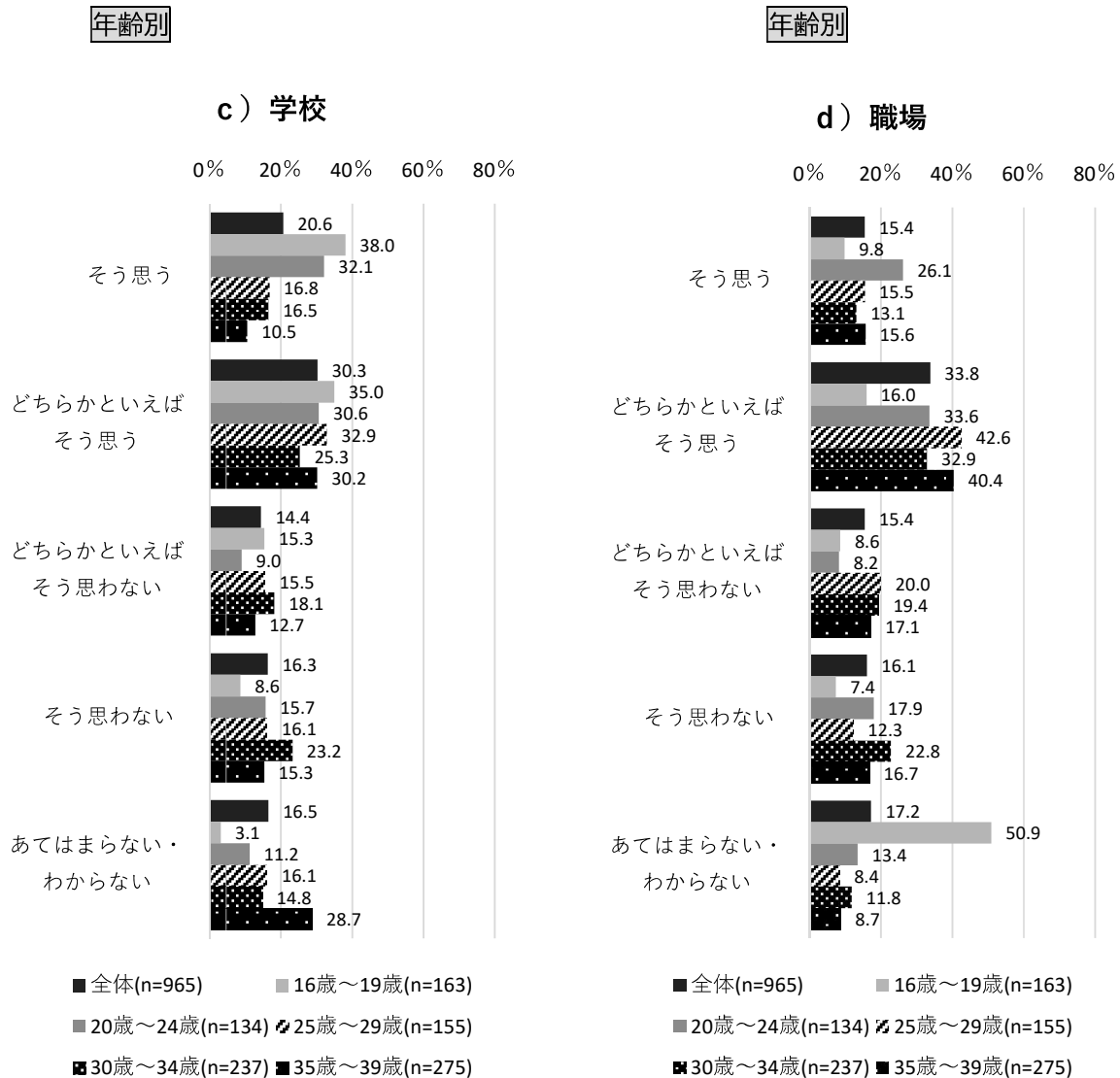
「どちらかといえばそう思う」が30.3%と最も多く、「そう思う」が20.6%、「あてはまらない・わからない」が16.5%、「そう思わない」が16.3%、「どちらかといえばそう思わない」が14.4%となっています。

年齢別にみると、「そう思う」の割合は総じて年齢が上がるほど低くなる傾向がみられます。

d)職場(過去の職場を含む)

「どちらかといえばそう思う」が33.8%と最も多く、「あてはまらない・わからない」が17.2%、「そう思わない」が16.1%、「そう思う」が15.4%、「どちらかといえばそう思わない」が15.4%となっています。

年齢別にみると、30歳～34歳では「そう思わない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



e) 趣味の活動(一人での活動を含む)

「そう思う」が49.1%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」が31.5%、「あてはまらない・わからない」が11.9%、「どちらかといえばそう思わない」が4.1%、「そう思わない」が2.3%となっています。

年齢別にみると、「そう思う」の割合は総じて年齢が上がるほど低くなる傾向がみられます。

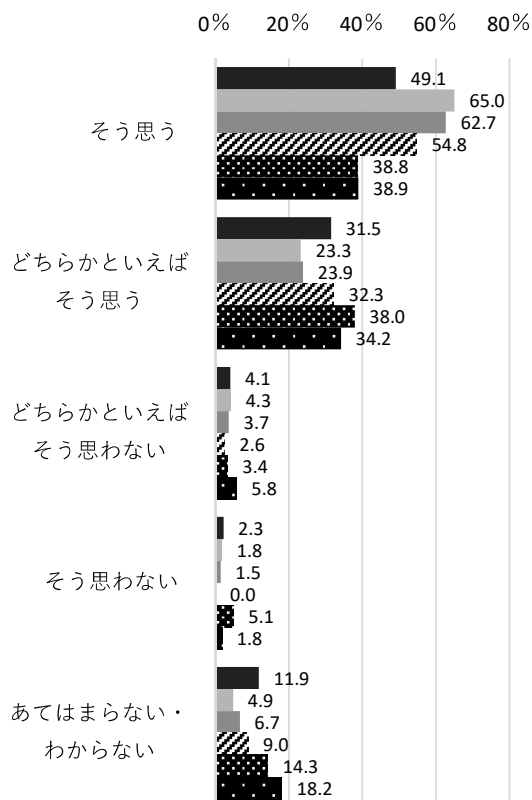
f) 現在住んでいる場所やコミュニティ、近所にある建物

「どちらかといえばそう思う」が35.3%と最も多く、「そう思う」が23.7%、「あてはまらない・わからない」が14.6%、「どちらかといえばそう思わない」が12.7%、「そう思わない」が12.1%となっています。

年齢別にみると、「そう思う」の割合は20代までは2割を超えていますが、30代以上では2割を下回っています。

年齢別

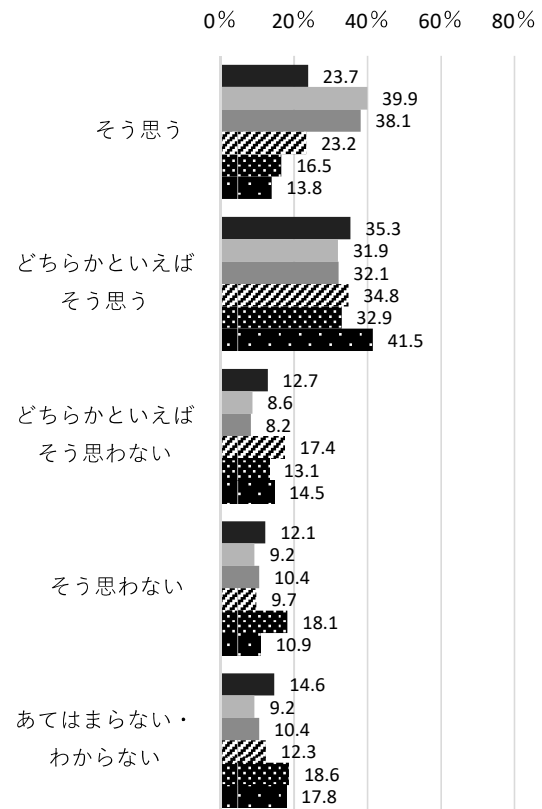
e) 趣味の活動



■ 全体(n=965) ■ 16歳～19歳(n=163)
 ■ 20歳～24歳(n=134) ■ 25歳～29歳(n=155)
 ■ 30歳～34歳(n=237) ■ 35歳～39歳(n=275)

年齢別

f) コミュニティ、近所の建物



■ 全体(n=965) ■ 16歳～19歳(n=163)
 ■ 20歳～24歳(n=134) ■ 25歳～29歳(n=155)
 ■ 30歳～34歳(n=237) ■ 35歳～39歳(n=275)

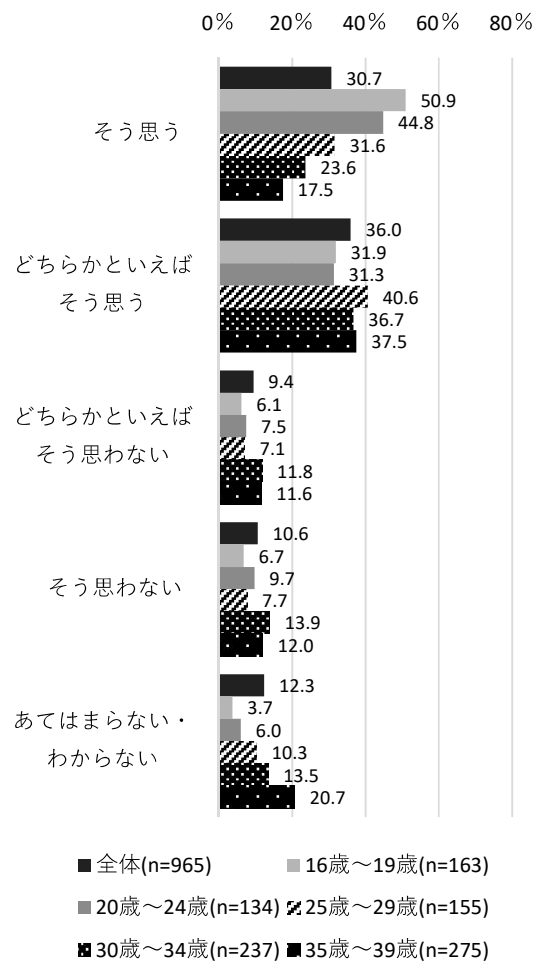
g)インターネット空間(SNS、YouTube、オンラインゲームなど)

「どちらかといえばそう思う」が36.0%と最も多く、「そう思う」が30.7%、「あてはまらない・わからない」が12.3%、「そう思わない」が10.6%、「どちらかといえばそう思わない」が9.4%となっています。

年齢別にみると、「そう思う」の割合は年齢が低いほど高くなっています。

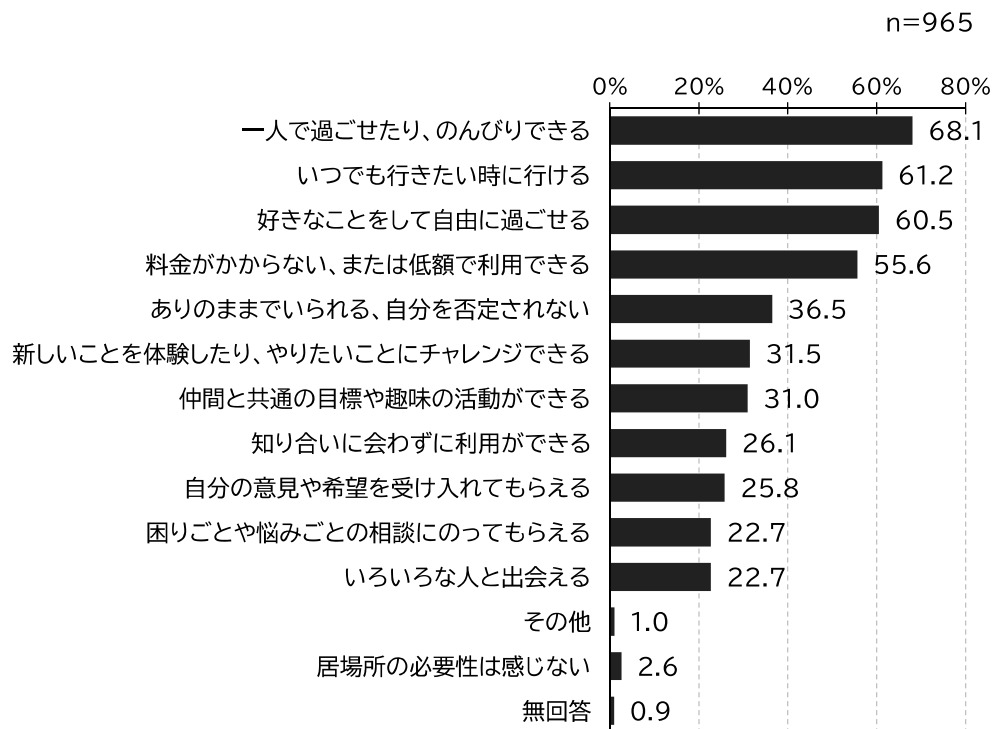
年齢別

g) インターネット空間



問 どのような“居場所”があれば利用したいと思いますか(複数回答)

「一人で過ごせたり、のんびりできる」が68.1%と最も多く、「いつでも行きたい時に行ける」が61.2%、「好きなことをして自由に過ごせる」が60.5%、「料金がかからない、または低額で利用できる」が55.6%、「ありのままでいられる、自分を否定されない」が36.5%となっています。

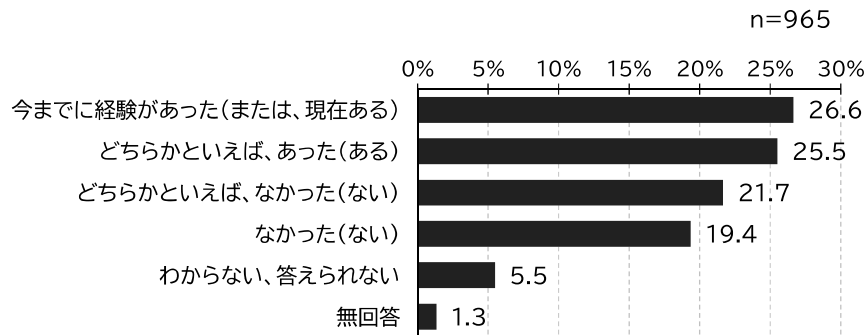


安心できる場所、居心地のよい場所は、人それぞれ。

(5) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験

問 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか

「今までに経験があった(または、現在ある)」が26.6%と最も多く、「どちらかといえば、あった(ある)」が25.5%、「どちらかといえば、なかった(ない)」が21.7%、「なかった(ない)」が19.4%、「わからない、答えられない」が5.5%となっています。

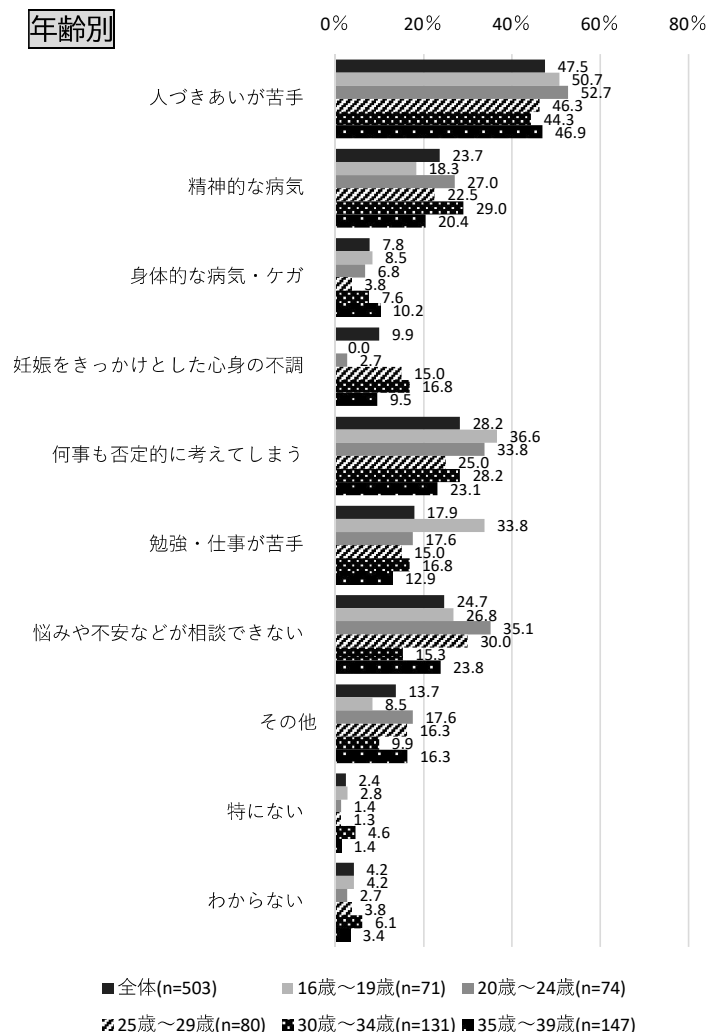


「今までに経験があった(または、現在ある)」「どちらかといえば、あった(ある)」と答えた人

問 そうした問題を体験した、または現在体験している主な原因は何ですか(複数回答)

「人づきあいが苦手」が47.5%と最も多く、「何事も否定的に考えてしまう」が28.2%、「悩みや不安などが相談できない」が24.7%、「精神的な病気」が23.7%、「勉強・仕事が苦手」が17.9%となっています。

年齢別にみると、「人づきあいが苦手」の割合は16歳～19歳、20歳～24歳で過半数となっています。

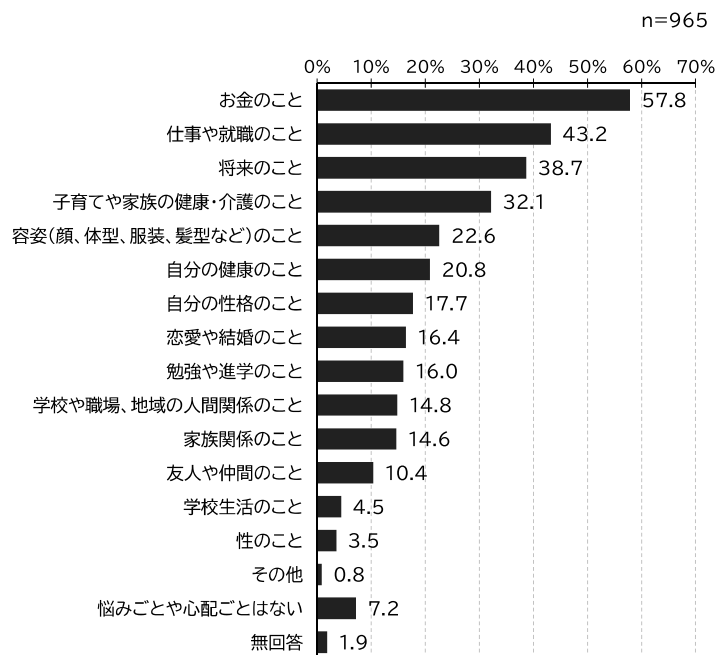


(6) 悩みごとや心配ごとと相談先

問 次のような悩みごとや心配ごとがありますか(複数回答)

「お金のこと」が57.8%と最も多く、「仕事や就職のこと」が43.2%、「将来のこと」が38.7%、「子育てや家族の健康・介護のこと」が32.1%、「容姿(顔、体型、服装、髪型など)のこと」が22.6%となっています。

年齢別にみると、全体で最も多い「お金のこと」の割合は16歳～19歳で38.7%のところ、20代以上になると過半数となり、総じて年齢が上がるほど割合が高くなる傾向がみられます。



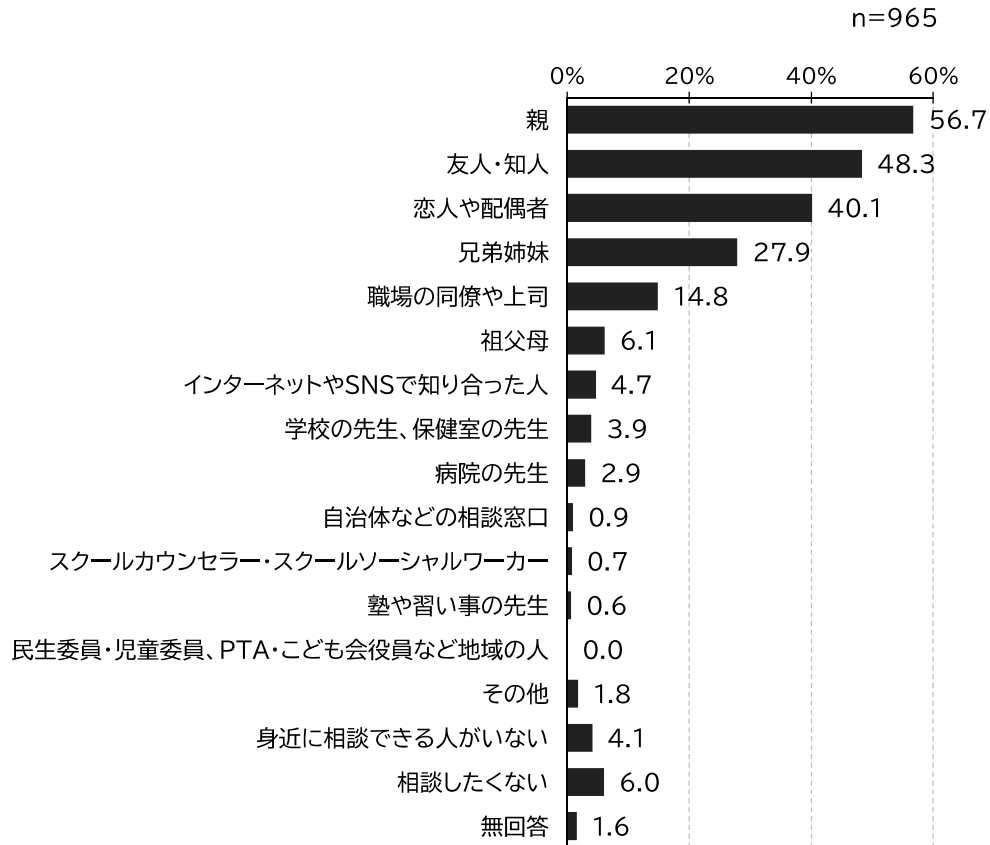
性別・年齢別

		合計(人)	勉強や進学のこと	友人や仲間のこと	学校生活のこと	仕事や就職のこと	恋愛や結婚のこと	自分の性格のこと	自分の健康のこと	お金のこと	容姿(顔、体型、服装、髪型など)のこと
(%)											
全体		965	16.0	10.4	4.5	43.2	16.4	17.7	20.8	57.8	22.6
性別	男性	324	16.4	10.2	4.3	39.8	16.0	13.9	17.6	58.3	14.5
	女性	619	15.8	10.3	4.7	44.9	16.5	19.4	22.3	58.0	26.5
	その他	3	33.3	33.3	0.0	66.7	66.7	100.0	0.0	66.7	66.7
	答えたくない	18	11.1	11.1	0.0	38.9	11.1	16.7	33.3	44.4	27.8
年齢別	16歳～19歳	163	63.8	25.2	19.6	30.7	16.6	20.9	14.1	38.7	27.0
	20歳～24歳	134	21.6	20.9	6.0	51.5	26.1	23.9	19.4	53.0	31.3
	25歳～29歳	155	2.6	5.8	0.0	44.5	23.2	17.4	22.6	63.2	22.6
	30歳～34歳	237	2.5	4.2	0.4	46.8	12.2	17.7	19.8	62.0	20.7
	35歳～39歳	275	4.0	4.4	0.7	42.9	11.3	13.1	25.5	65.1	17.5

		合計(人)	性のこと	将来のこと	学校や職場、地域の人間関係のこと	家族関係のこと	子育てや家族の健康・介護のこと	その他	悩みごとや心配ごとはない	無回答
(%)										
全体		965	3.5	38.7	14.8	14.6	32.1	0.8	7.2	1.9
性別	男性	324	4.6	34.0	11.1	13.3	24.1	0.9	8.0	1.9
	女性	619	2.6	41.4	16.6	15.3	37.0	0.6	6.6	1.5
	その他	3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	答えたくない	18	11.1	33.3	16.7	11.1	16.7	5.6	11.1	16.7
年齢別	16歳～19歳	163	4.3	34.4	11.0	12.3	6.1	0.0	10.4	0.6
	20歳～24歳	134	4.5	38.8	10.4	9.7	8.2	0.0	11.2	0.7
	25歳～29歳	155	4.5	47.1	20.0	19.4	36.8	0.6	6.5	2.6
	30歳～34歳	237	2.5	39.2	16.0	11.8	42.6	1.7	5.9	2.1
	35歳～39歳	275	2.9	36.0	15.3	18.2	47.6	1.1	4.7	2.2

問 悩みごとや心配ごとがあるとき、相談できると思う人は誰ですか(複数回答)

「親」が56.7%と最も多く、「友人・知人」が48.3%、「恋人や配偶者」が40.1%、「兄弟姉妹」が27.9%、「職場の同僚や上司」が14.8%となっています。



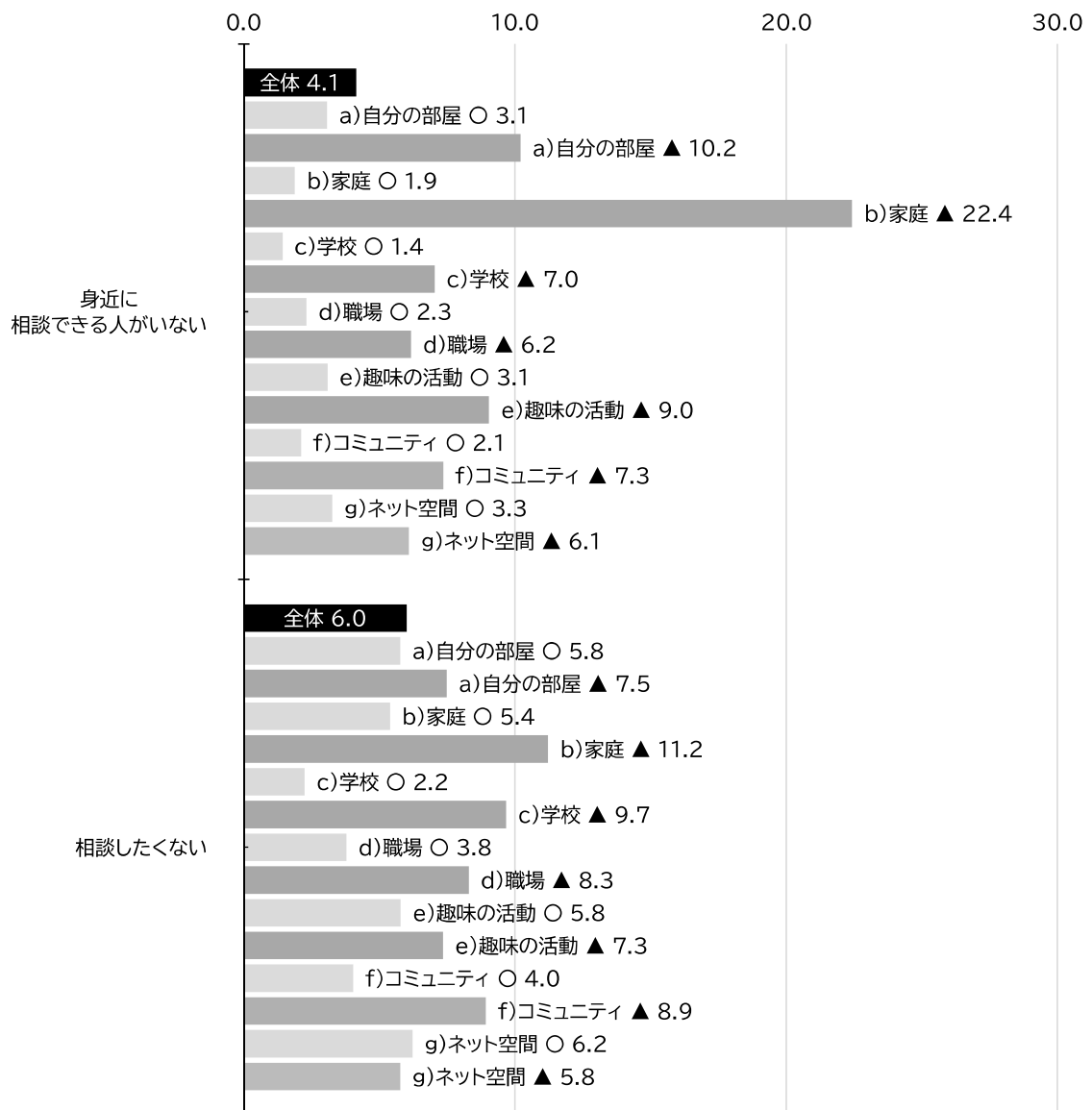
「相談できる人がいない」「相談したくない」人への対応が大事。

相談先がない・相談したくない人と居場所の有無

「身近に相談できる人がいない」「相談したくない」と回答した人について、居場所の a) ~ g) それぞれで安心できる場所、居心地のよい場所などになっている人（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」=○と表示）と、なっていない人（「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」「あてはまらない・わからない」=▲と表示）の別に集計しました（無回答を除いて集計）³。

「身近に相談できる人がいない」と答えた人では、a) ~ g) のいずれでも居場所になっていない人（=▲）の割合が高くなっています。

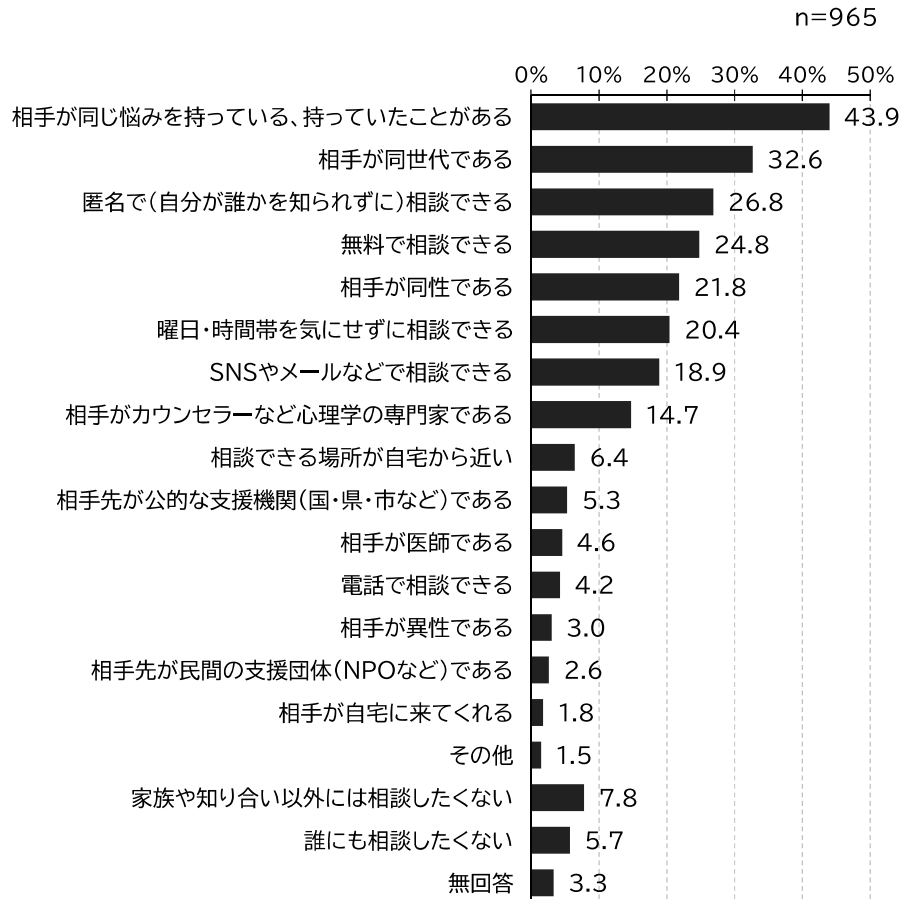
「相談したくない」と答えた人では、a) ~ f) では居場所になっていない人（=▲）の割合が高くなっていますが、「g) ネット空間」では居場所になっている人（=○）の割合がわずかながら高くなっています。



3 グラフに示す数値（割合）は、居場所の a) ~ g) それぞれに回答した人の数を母数とした割合です。

問 家族や知り合い以外に相談するとき、どのような場合なら相談したいと思いますか
(複数回答)

「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が43.9%と最も多く、「相手と同世代である」が32.6%、「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」が26.8%、「無料で相談できる」が24.8%、「相手が同性である」が21.8%となっています。

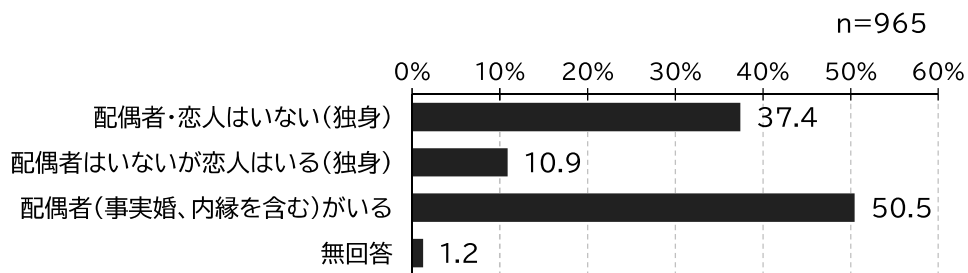


「相談したいと思う」相手に求められるのは、安心感なのかも。

(7)結婚観・子どもをもつことへの考え

問 現在の婚姻状況(初婚・再婚の別を問わず)・恋愛状況をお答えください

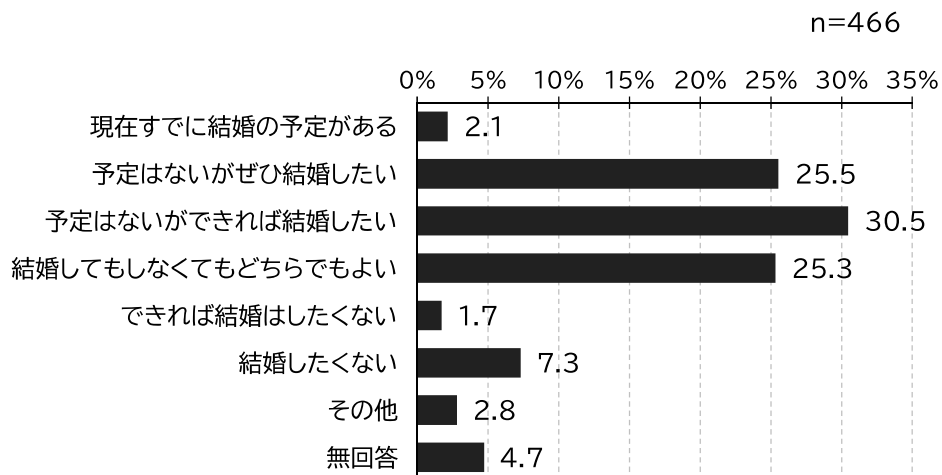
「配偶者(事実婚、内縁を含む)がいる」が50.5%と最も多く、「配偶者・恋人はいない(独身)」が37.4%、「配偶者はいないが恋人はいる(独身)」が10.9%となっています。



「配偶者・恋人はいない(独身)」「配偶者はいないが恋人はいる(独身)」と答えた人

問 結婚についてどのように考えていますか

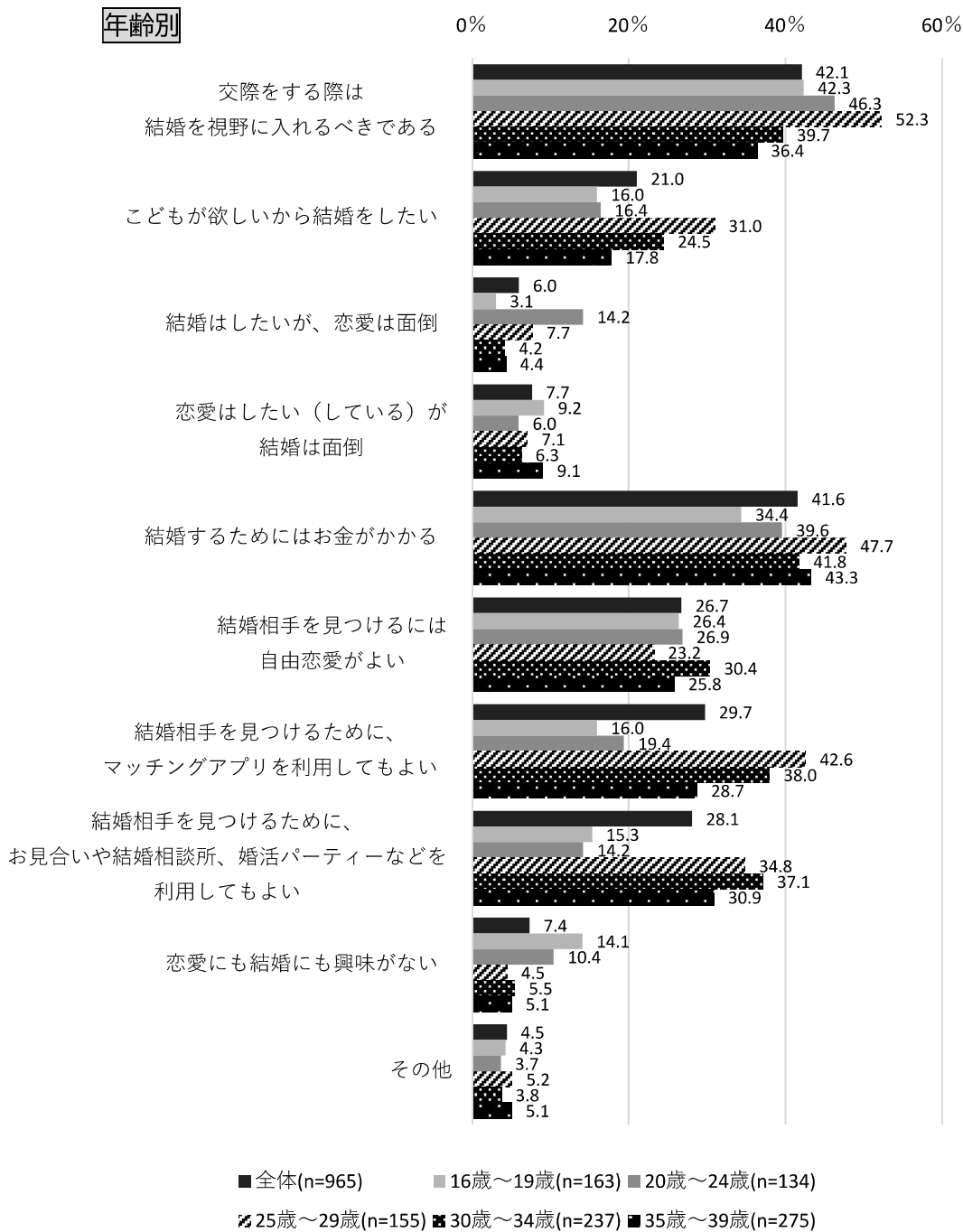
「予定はないができれば結婚したい」が30.5%と最も多く、「予定はないがぜひ結婚したい」が25.5%、「結婚してもしなくてもどちらでもよい」が25.3%、「結婚したくない」が7.3%、「その他」が2.8%となっています。



問 恋愛や結婚についてあなたのお考えに近いものを教えてください(複数回答)

「交際をする際は結婚を視野に入れるべきである」が42.1%と最も多く、「結婚するためにはお金がかかる」が41.6%、「結婚相手を見つけるために、マッチングアプリを利用してもよい」が29.7%、「結婚相手を見つけるために、お見合いや結婚相談所、婚活パーティーなどを利用してもよい」が28.1%、「結婚相手を見つけるには自由恋愛がよい」が26.7%となっています。

年齢別にみると、アプリ、結婚相談所・婚活パーティーなどに肯定的な意見は25歳以上で割合が高くなっています。

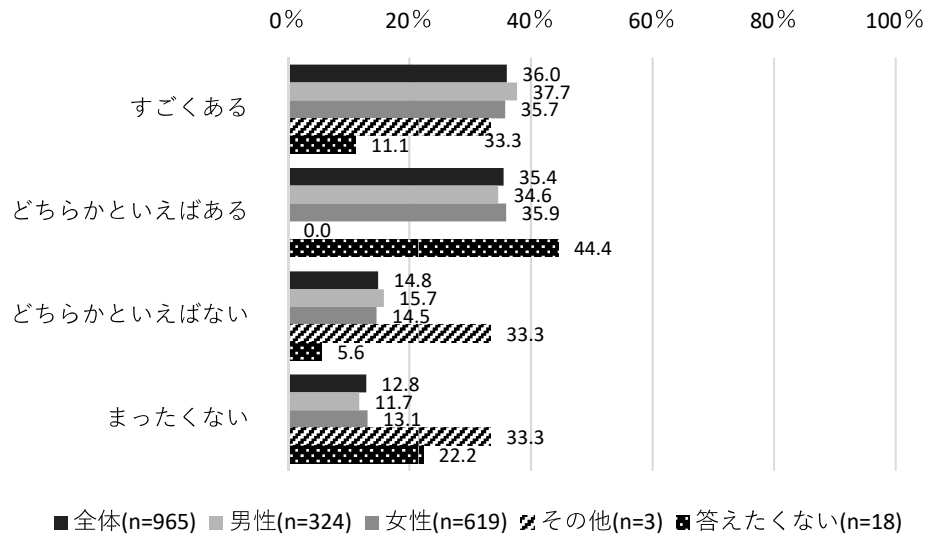


問 「将来子どもが欲しい」または「もっと子どもが欲しい」という気持ちはありますか

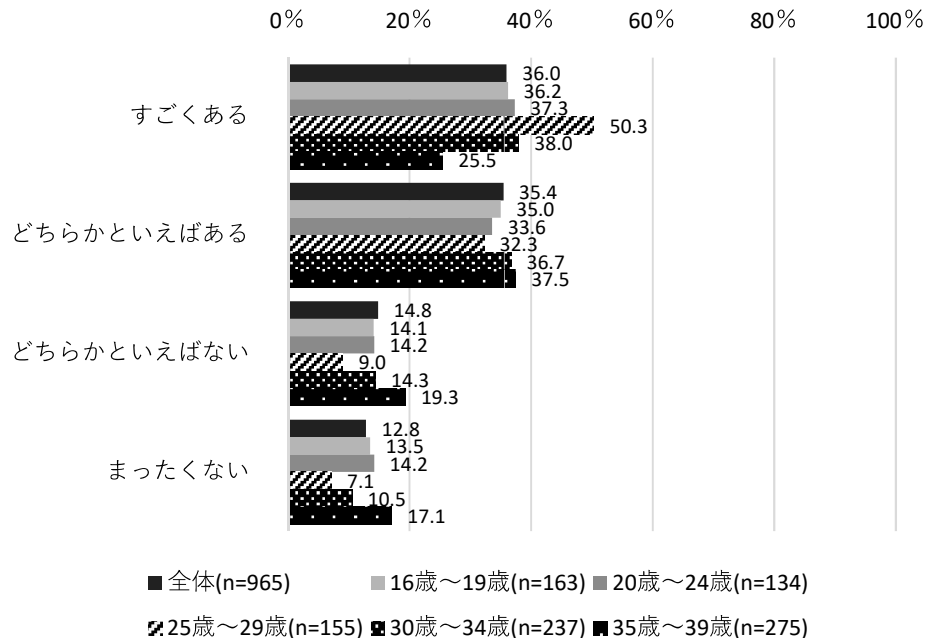
「すごくある」が36.0%と最も多く、「どちらかといえばある」が35.4%、「どちらかといえばない」が14.8%、「まったくない」が12.8%となっています。

「まったくない」を性別にみると、わずかながら女性のほうが男性より割合が高くなっています。

性別



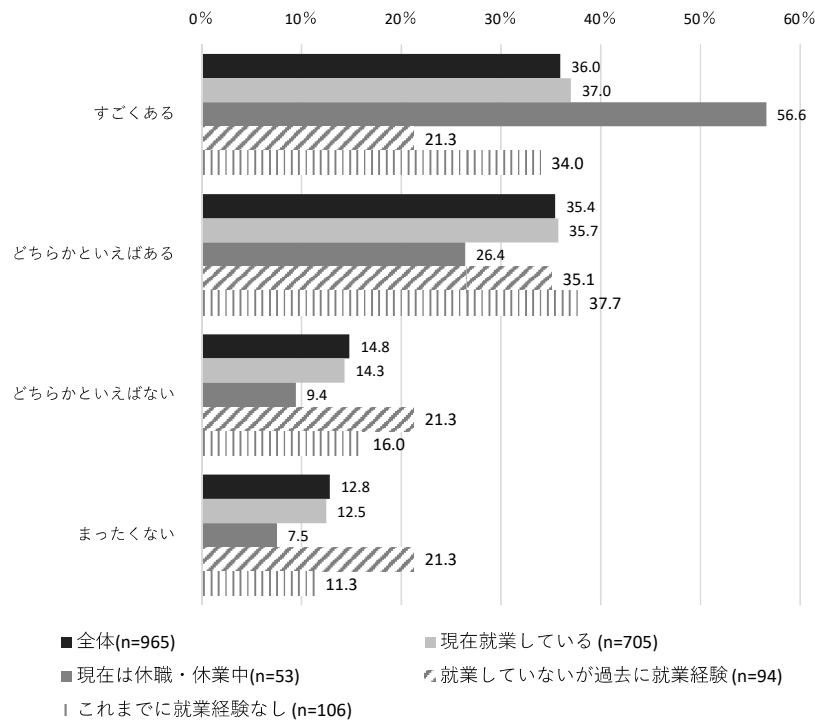
年齢別



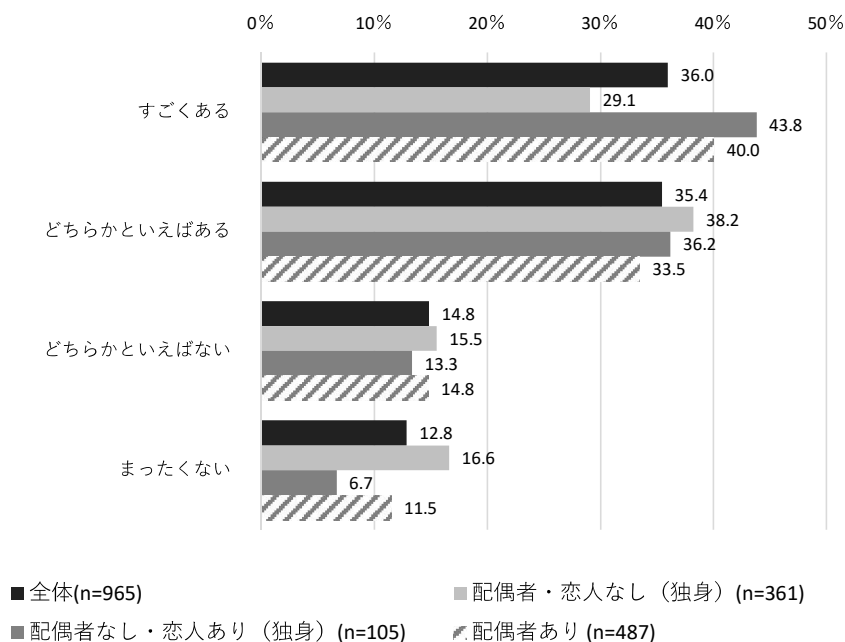
子どもをもつことへの気持ちを就業経験別にみると、「すごくある」では、現在は休職・休業中の人の割合が最も高くなっています。「まったくない」では、就業していないが過去に就業経験がある人の割合が最も高くなっています。

結婚・恋愛状況別にみると、「すごくある」では、配偶者なし・恋人あり（独身）の人の割合が最も高く、次いで配偶者ありの人の割合が高くなっています。「まったくない」では、配偶者・恋人なし（独身）の人の割合が最も高くなっています。

就業経験別



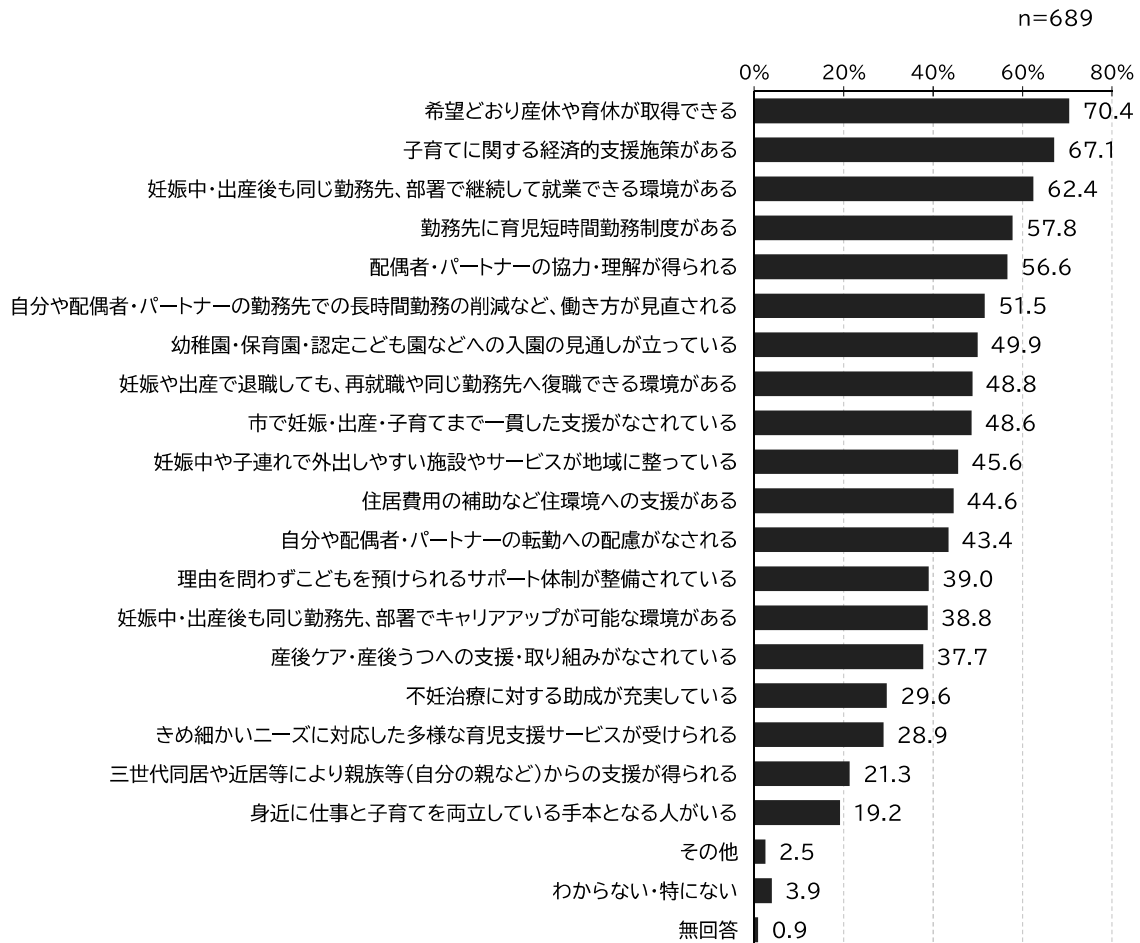
結婚・恋愛状況別



「すごくある」「どちらかといえばある」と答えた人

問 希望することどもの数をもつために、どのような環境や支援があればよいと思いますか(複数回答)

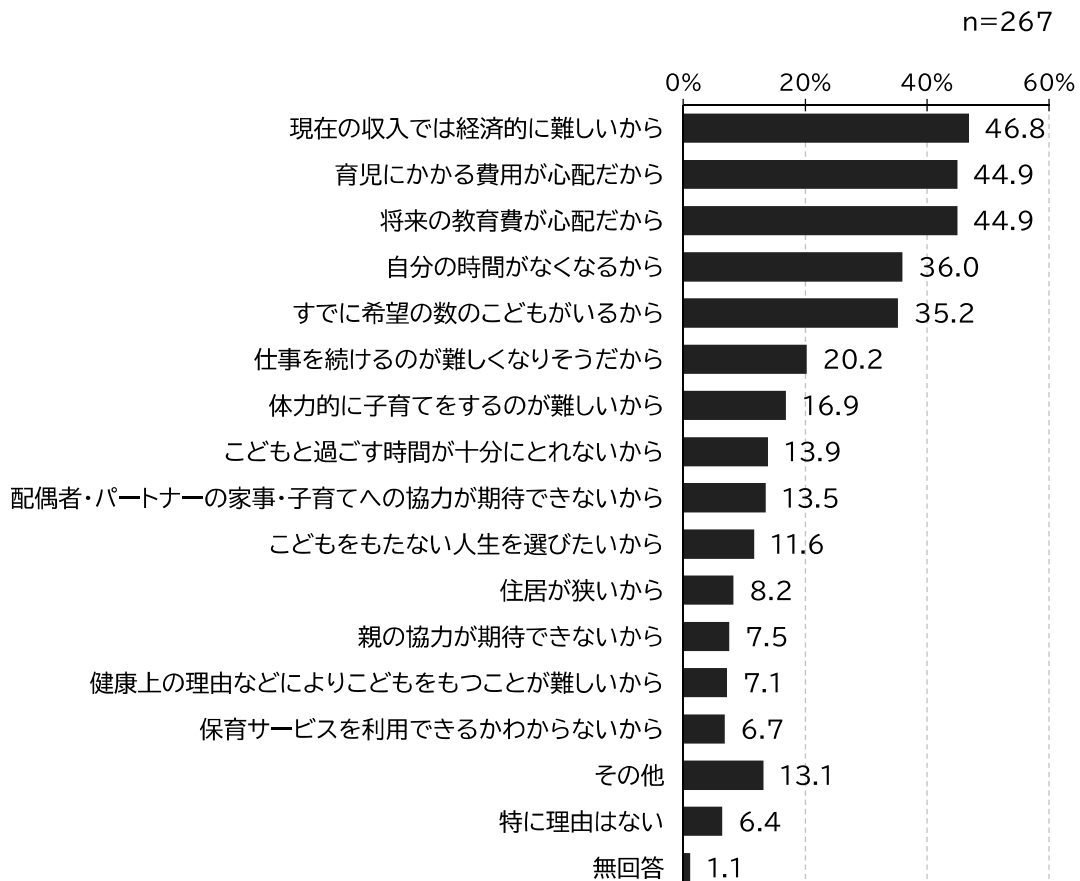
「希望どおり産休や育休が取得できる」が70.4%と最も多く、「子育てに関する経済的支援施策がある」が67.1%、「妊娠中・出産後も同じ勤務先、部署で継続して就業できる環境がある」が62.4%、「勤務先に育児短時間勤務制度がある」が57.8%、「配偶者・パートナーの協力・理解が得られる」が56.6%となっています。



「どちらかといえばない」「まったくない」と答えた人

問 子どもを欲しいという気持ちがない理由は何ですか(複数回答)

「現在の収入では経済的に難しいから」が46.8%と最も多く、「育児にかかる費用が心配だから」および「将来の教育費が心配だから」が44.9%、「自分の時間がなくなるから」が36.0%、「すでに希望の数の子どもがいるから」が35.2%となっています。

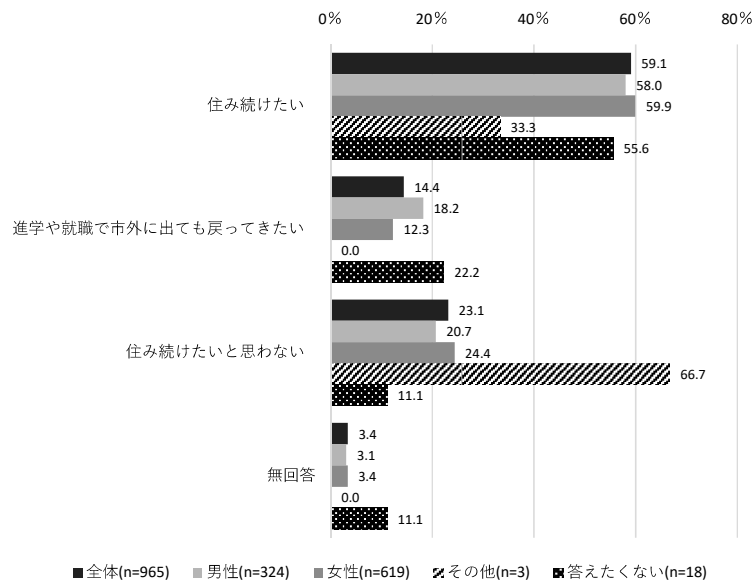


(8)唐津市での暮らし

問 今後も唐津市に住み続けたいと思いますか

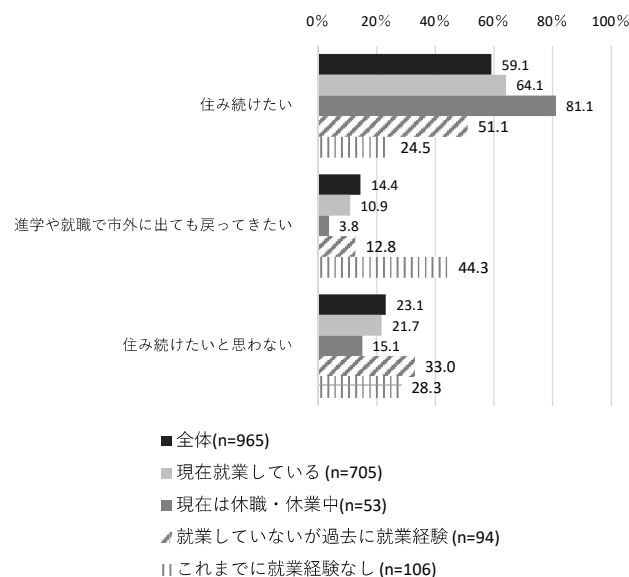
「住み続けたい」が59.1%と最も多く、「住み続けたいと思わない」が23.1%、「進学や就職で市外に出ても戻ってきたい」が14.4%となっています。

性別



就業経験別にみると、住み続けたい人では、「現在は休職・休業中」が最も多く、次いで「現在就業している」となっています。住み続けたいと思わない人では、「就業していないが過去に就業経験」が最も多く、次いで「これまでに就業経験なし」となっています。現在就業していない人では居住継続の意向が低くなる傾向がうかがえます。

就業経験別



住み続けたい人の理由

全体として、「地元への愛着」「自然環境のよさ」「福岡へのアクセスのよさ」など、唐津ならではの魅力を理由にあげる声が多くなっています。一方、「家を建てたから」「転居する理由がない」など、現状の生活の定着による消極的な理由もみられます。特に自然と利便性のバランスを評価する声が多く、唐津市が「ちょうどよいまち」といった感覚で認識されていることがうかがえます。

カテゴリー	主な意見の要約
地元・愛着・家族のつながり	生まれ育った場所／地元が落ち着く／唐津が好き／家族・友人が近くにいる
住みやすさ・暮らしやすさ	住み慣れている／住みやすい／田舎でも都会でもなくちょうどよい環境
自然環境・風景・気候のよさ	自然が豊か／海・山がある／自然災害が少ない
利便性・交通アクセスのよさ	福岡などの都市部へのアクセスがよい／買物や交通などの利便性が高い
仕事・職場・生活基盤	家や土地を所有している／職場が近い
子育て環境・教育環境	自然に囲まれた中で子どもを育てられる環境／給食費無償化等の子育て支援がある
不便さ・転居の面倒など消極的理由	引っ越す理由がない／都会は厳しい／知らない土地に行くのが怖い／家庭事情
伝統・祭り・文化への誇り	「唐津くんち」があるから

進学や就職で市外に出ても戻ってきたい人の理由

全体として、「地元への愛着」「自然の豊かさ」「暮らしやすさ」を理由に、将来的に唐津に戻りたいと考える意見が多くみられます。特に、「都会すぎず田舎すぎないちょうどよさ」の声が目立ち、住環境バランスのよさを感じていることがうかがえます。

カテゴリー	主な意見の要約
地元・愛着・安心感	生まれ育った場所／安心する／実家がある／地元が一番
自然環境・風景の魅力	自然が豊か／海・山・川がある
住みやすさ・暮らしやすさ	住みやすい／慣れている場所
人の温かさ・地域性	「唐津くんち」を毎年見たい／人が温かい／文化や歴史を誇りに思っている
食・物価・生活コスト	食べ物がおいしい／手頃な価格でおいしい食材が手に入る
都会への憧れ・一時的離脱	都会への憧れがある
利便性・アクセス	福岡や佐賀などへのアクセスがよい
子育て環境・安全性	子育て支援が充実している／子どもがのびのび過ごせる環境

住み続けたいと思わない人の理由

全体として、「雇用・賃金・産業の乏しさ」「娯楽・商業・文化施設の不足」「公共交通機関の不便さと自動車依存」などの面で、若者・子育て世帯の生活・成長機会が不足しているという認識があるようです。また「子育て支援・教育・医療」「治安・地域性」「行政・料金・物価」への不満など、複合的な理由から「市外に出たい」という心理をつくり出しているようにも思われます。一方、「他地域で経験を積みたい」といった、市内に戻る可能性のある意見もみられます。

カテゴリー	主な意見の要約
人間関係・コミュニティの狭さ	人間関係の文化が合わない／コミュニティが狭い／地域のしがらみがつらい
雇用・賃金・産業の乏しさ	賃金が安い／就職先が限られる／希望する職種がない
交通・公共交通の不便・自動車依存	移動が車に依存している／電車やバスが不便／老後まで生活できない
子育て支援・教育・医療の不満	子育て支援の薄さ／教育水準の低さ／医療機関の不足
他地域志向・UIJ ターン意向	都会に住みたい／地元に戻りたい／海外でやりたいことがある
娯楽・商業・文化施設の不足	商業施設が少ない／遊ぶ場所がない
治安・マナー・地域性への不安	治安が悪い
行政・税金・物価・料金への不満	生活に対する支援が少ない／公園に駐車場がない／税金が高い
住宅費・家賃・生活コスト	家賃が高い／テレビを見るためにお金がかかる／水道料金が安い
必要性がない・特に理由なし	唐津に住み続ける理由がない／住む場所にこだわりはない／仕事のために住んでいる
若者・出会い・活気不足	発展がない／若者の声が届かない／活気がない／出会いがない

こうすれば唐津市がもっと住みやすくなると思うアイデア

最も多い意見は大型商業・娯楽拠点の充実で、福岡に頼らず市内で完結する遊び・買物環境を求める声が多くなっています。公共交通機関の増便・道路改善、子育て給付など家計支援を望む声も多くなっています。

雇用・賃金の底上げ、観光・イベントの発信、公園・空き家・ごみ等の基盤整備、教育・安全、行政DXや高齢者移動支援まで、生活全体の質の向上を志向する声がみられます。

カテゴリー	主な意見の要約
娯楽・商業・文化施設	大型ショッピングモール／アミューズメント複合施設／映画館／大人からこどもまで遊ぶことができる施設
公共交通（鉄道/バス/料金/本数/道路/渋滞）	電車・バスの増便／道路の舗装・管理／渋滞の解消／交通網の拡大
子育て支援・少子化対策（給付/無償化/保育）	子育て支援の充実／子育て家庭への給付金／高校生までの医療費の無償化／保育料の無償化／出産費用の助成
住宅・暮らしコスト（家賃/水道/光熱費/税）	減税／家賃を下げる／生活費の補助・給付金／テレビ料金の無償化／光熱費の負担軽減
雇用・賃金・産業・企業誘致	最低賃金・基本給の引き上げ／就職・アルバイト先の拡大／収入安定／働き方の多様化／ワーク・ライフ・バランスの確保／起業支援
観光・ブランド・イベント・PR	フェス・イベントの開催／唐津のよさをいかした観光事業への注力／唐津のPRの強化
インフラ整備（区画/空き家/公園/トイレ/ごみ）	ボールを使える・広い公園の増設／空き家の解体・活用／住民協働によるまちづくり／ごみ問題の解決
教育・学校（学力/設備/学習環境/大学）	大学等の教育施設の創設／学習環境の充実／スクールバスの拡大／就学援助
安全・治安・交通マナー・街灯	街灯を増やす／交通の取締り／治安の維持／登下校の見守り
医療（小児科/産婦人科/医療費）	小児科を増やす／若い世代に対する不妊治療の支援／小児科のWEB予約
行政運営・DX/手続き簡素化	手続きのオンライン化・簡素化／行政の適正な運営／行政が行っている支援の周知
多文化・障がい・インクルージョン	障がいに対する理解・支援／コミュニティの拡大／異文化・多文化交流の機会
高齢者・移動支援（免許返納/買物代行/オンデマンド）	タクシー・バスの割引券／免許返納者・免許不保持者の移動手段を増やす

3 唐津市子ども・若者ヒアリング～からつっこVOICE～2025

本計画の策定にあたって、唐津市に住む子ども・若者の状況やニーズ、日ごろ思っていること等について生の声を聞き、より実効性のある施策を検討するための取り組みとして、「唐津市子ども・若者ヒアリング～からつっこVOICE～2025」を実施しました。

●実施日時・場所

令和7年12月20日（土） 10：00～12：15

唐津市役所 1階市民ホール

●対象者

唐津市内在住の16歳から39歳までの人

10代：3名、20代：6名、30代：5名 合計 14名

（高校生：2名、大学・専門学生：2名、社会人：10名）

●内容

3つのテーマについて、3つのチーム「グランブルーチーム（10代）」「8-caratチーム（20代）」「アルピノチーム（30代）」に分かれてグループトークを行いました。

各テーマは、ワークショップ方式（KJ法）で自由に意見を出し合い、最後にチームごとの発表を行いました。

各チームのテーブルにファシリテーターおよび書記として計画関係課の職員がつき、進行や話し合いを補佐しました。



●結果の概要

【テーマ1】唐津市のよいところ・よくないところ

唐津市のよいところはどのようなところですか？

【グランブルーチーム（10代）】

- 海が近い、海がきれい（友達と遊びに行けて、夏に嬉しい）
- 「虹の松原」や「七ツ釜」などの自然がたくさんある
- 地震などの災害が少ない
- 人がたくさん集まるお祭りがある（唐津くんちや浜崎祇園など）
- 都市部へのアクセスが比較的よい
- フレンドリーな人が多い（都市部で生活すると近所づきあいがいい）
- 人混みが少なく、落ち着いている
- ある程度なんでもあって、ちょうどよい
- ご飯がおいしい

【8-carat チーム（20代）】

- 優しくあたたかい人が多く、近所付き合いがよい
- 唐津に住んでいる人は、唐津を好きな人が多い
- 自然災害が少ない
- 海・山・川等の自然が豊か
- 食べ物がおいしい、居酒屋が多い
- 「唐津くんち」などの伝統文化があり、みんなで盛り上がる
- 歴史的なお祭りや建物・史跡・観光資源が多い
- 人混みや行列が少ない
- 都会ではないけれど、特に不便がない
- 程よく田舎で、地域で子どもを育てる雰囲気があり、子育てがしやすい
- 「唐ワンくん」がいる

【アルピノチーム（30代）】

- 優しい・あたたかい人が多い
- 自然が豊か、海が近い
- 「唐津くんち」など伝統文化がある
- 福岡へのアクセスがよい
- ある程度のお店がある
- 人が少なく、穏やか
- 食べ物がおいしい（特に海鮮）
- 物価が低い
- 犯罪が少ない

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

資料



唐津市のよくないところはどのようなところですか？

【グランブルーチーム（10代）】

- 遊ぶ場所が少ない（休日は市外・県外へ行くことが多い）
- 就職・進学先が少ない
- バスが少ない、バス停も少ない
- 家賃が高い
- 人口が少ない

【8-carat チーム（20代）】

- 娯楽施設が少ない
 - 道が狭く、渋滞が多い
 - 家賃が高い
 - 給料・収入が低い
 - 就職先の選択肢が少ない
 - 担い手・人手不足
 - 小児科が少ない
 - 若者が少なく、老々介護やヤングケアラーが多い
 - 唐津市の中心地から離れると買物が不便
 - 駅周辺の施設等が充実していない
 - 閉鎖的な面もある
 - 公共交通機関が少ない（車を持つとあまり感じないが、学生の時は不便に感じた）
- ※ショッピングモールなどは少ないが、近隣の福岡・佐賀に行くことが多く、それほど不便には感じていないという意見が多かった。

【アルピノチーム（30代）】

- 学生や若者が集まる場所が少ない、写真映えるスポットが少ない
- 電車・バスの本数が少ない（車が必要不可欠で、高齢者が困る）
- 夜道が暗く、街灯が少ない
- 大きな公園がない
- 大学、短大がない
- 大きな病院が少ない、小児科が少なく混んでいる
- 雇用が少ない、市内に大きな企業が少なく、就職先が少ない
- お店が少なく、商店街が盛り上がらない
- 家賃が高い
- 水道料金が安い
- テレビを見るのにケーブルテレビの契約が必要



【テーマ2】若い世代が住みたい、住み続けたい街の条件

若い世代が住みたい、住み続けたい街の条件はどんなことだと思いますか？

【グランブルーチーム（10代）】

- 公園や体育館がたくさんある
- 遊ぶ場所がたくさんある
- 公共交通機関が利用しやすく、郊外へのアクセスもよい
- 働く場所・職業の選択肢が多い（実際に唐津でしたい職業がなく、進学を選択した）
- 子育てしやすい環境がある
- 優しい人が多いまち
- イオンのような商業施設が多くある
- 唐津にしかないものをつくる（特色のある街になれば、人が来るようになる）

【8-carat チーム（20代）】

- 買物しやすい、家賃が高くない
- 生活に不便が少ない環境
- 育児がしやすい環境
- 安全な遊び場・大きな公園がある
- 給料が高く、仕事の選択肢が多い
- ワーク・ライフ・バランスが取れる
- 同年代・多世代交流ができ、どの世代でもやりたいことができる（人生を楽しめる環境）
- 大きいイベントがある（唐津では「唐津くんち」「唐津フェス」など）
- 子育て世帯だけでなく、単身世帯にも優しい街
- 若者が気軽に集まることができる施設がある
- 進学の実績が多い、スポーツにも力を入れている学校がある

【アルピノチーム（30代）】

- 進学先の充実、就職先の充実、雇用の安定
 - 子育てしやすい環境
 - 小児科が多い街
 - 大人も楽しめるこども向けのイベントがある
 - 趣味を楽しめる街
 - 観光地としての充実、観光地のアピールに力を入れている
 - 異性との出会いの場があり、結婚を考えることができる
 - 友人が多くいる
 - 交通の便を良くする
 - 生活にかかるコストが低い
 - 買物する場所・選択肢が多い、大きい商業施設がある
 - こどもの遊び場・娯楽を増やす
 - 人も街も明るい雰囲気がある（若者が増えると街が明るくなる）
- ※就職先の関係で唐津を離れ、若者が少なくなっている印象がある。



【テーマ3】唐津市が子ども・若者が希望を持って住み続ける街になるために

唐津市が子ども・若者が希望をもって住み続ける街になるために必要なこと・ものは？

【グランブルーチーム（10代）】

- 働く場所を増やす
- 人が集まる場所・イベントを増やす
- 大きなゲームセンター・映画館等の娯楽施設（ラウンドワンなど）をつくる
- オシャレなカフェを増やす
- 学校を増やす（スポーツ関係の大学・施設をつくる）
- 唐津にアリーナや大きな体育館をつくる
- スポーツ専用のリハビリ施設をつくる

全部ある街

こんな唐津になるといい
人が集まる街、唐津

【8-carat チーム（20代）】

- ① ● 仕事の選択肢が増える、収入が高くなる
- ② ● 生きがいの持てる活動ができる
 - 若者のコミュニティの場所が増える
 - 同年代・多世代交流のイベントを増やし、知り合いが多くなる
 - 教育水準を上げる、郷土愛を育む
- ③ ● 自分の好き・やりたいことができる
 - 各年代が楽しいこと・うれしいことを発信する
 - 唐津で生活する人が生き生きとできる環境づくり
 - 子ども・若者が憧れを持てるブランド力のある街

結果として

こんな唐津になるといい
誰もがいきいきしている 憧れあふれる街

【アルピノチーム（30代）】

- 学びとあそびと仕事とつながりが充実した街
- 唐津市が唐津市民を大切にしてくれる街
- こんな街はなれようがないやん
- まるっとよいところ全部入れた福袋的な街
- 赤ちゃんからお年寄りみんなが満足できる街

まとめると

こんな唐津になるといい
唐津市が唐津市民を何より大切にする街 市民ファースト唐津

